

東北地区大学図書館協議会誌

第 61 号
平成 22 年 4 月



仙台白百合女子大学図書館

加盟館一覧	表紙裏面
東北地区大学図書館協議会に加盟して	
青森中央学院大学・青森中央短期大学 図書館情報センター 葛西 崇文	1
図書館業務を通して感じしたこと	
日本大学工学部 図書館事務課主任 大竹 道代	5
第5回を迎えた『言語力』大賞コンテスト	
弘前大学学術情報部学術情報課 情報サービスグループ係長 斎藤 香織	6
八戸工業大学メディアセンター開館	7
石巻専修大学図書館	8
第64回東北地区大学図書館協議会総会	9
日 程	9
総会資料	10
総会議事要録	24
出席者名簿	32
図書館統計年報	36
協議会総会当番地区・当番大学	39
東北地区大学図書館協議会役員館一覧	40
東北地区大学図書館協議会研修部会委員	41
東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会委員	42
東北地区大学図書館協議会会則等	43
東北地区大学図書館協議会防災連絡網設置要項（国立部会、公立部会）	51
加盟館職員名簿	53

東北地区大学図書館協議会加盟館一覧

(国 立 15 館)			
弘前大学附属図書館	036-8560	弘前市文京町1	(0172)39-3155
岩手大学情報メディアセンター図書館	020-8550	盛岡市上田3-18-8	(019)621-6082
東北大学附属図書館	980-8576	仙台市青葉区川内27-1	(022)795-5911
同 医 学 分 館	980-8575	仙台市青葉区星陵町1-1	(022)717-7973
同 北 青 葉 山 分 館	980-8578	仙台市青葉区荒巻字青葉6-3	(022)795-6368
同 工 学 分 館	980-8579	仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-03	(022)795-5892
同 農 学 分 館	981-8555	仙台市青葉区堤通雨宮町1-1	(022)717-8882
宮城教育大学附属図書館	980-0845	仙台市青葉区荒巻字青葉149	(022)214-3348
秋田大学附属図書館	010-8502	秋田市手形学園町1-1	(018)889-2273
同 医 学 部 分 館	010-8543	秋田市本道1-1-1	(018)884-6052
山形大学小白川図書館	990-8560	山形市小白川町1-4-12	(023)628-4904
同 医 学 部 図 書 館	990-9585	山形市飯田西2-2-2	(023)628-5054
同 工 学 部 図 書 館	992-2235	米沢市城南4-3-16	(0238)26-3019
同 農 学 部 図 書 館	997-8555	鶴岡市若葉町1-23	(0235)28-2810
福島大学附属図書館	960-1293	福島市金谷川1	(024)548-8083
(公 立 12 館)			
青森公立大学図書館	030-0196	青森市大字合子沢字山崎153-4	(017)764-1551
青森県立保健大学附属図書館	030-8505	青森市大字浜館字間瀬58-1	(017)765-2011
岩手県立大学メディアセンター	020-0193	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字菓子152-52	(019)694-2070
宮城大学総合情報センター	981-3298	宮城県黒川郡大和町学苑1-1	(022)377-8313
秋田県立大学図書・情報センター	010-0195	秋田市下新城中野字街道端西241-438	(018)872-1561
秋田公立美術工芸短期大学附属図書館	010-1632	秋田市新屋大川町12-3	(018)888-8106
国際教養大学図書館	010-1292	秋田市雄和椿川字奥椿岱193-2	(018)886-5907
山形県立保健医療大学附属図書館	990-2212	山形市上柳260	(023)686-6671
山形県立米沢女子短期大学附属図書館	992-0025	米沢市通町6-15-1	(0238)22-7334
会津大学情報センター附属図書館	965-8580	会津若松市一箕町鶴賀字上居合90	(0242)37-2545
会津大学短期大学部附属図書館	965-8570	会津若松市一箕町大字八幡字門田1-1	(0242)37-2458
福島県立医科大学附属学術情報センター	960-1297	福島市光が丘1	(024)547-1687
(私 立 37 館)			
青森大学・青森短期大学附属図書館	030-0943	青森市幸畑2-3-1	(017)738-2001
東北女子大学附属図書館	036-8530	弘前市大字豊原1-2-1	(0172)33-2289
八戸大学・八戸短期大学図書館	031-8588	八戸市大字美保野13-98	(0178)30-1695
八戸工業大学図書館	031-8501	八戸市大字妙字大開88-1	(0178)25-8032
弘前学院大学附属図書館	036-8577	弘前市稔町13-1	(0172)34-5211
青森中央学院大学・同短期大学図書情報センター	030-0132	青森市横内字神田12	(017)728-0131
岩手医科大学附属図書館	020-8505	盛岡市内丸19-1	(019)651-5111
富士大学図書館	025-8501	花巻市下根子450-3	(0198)22-4986
盛岡大学図書館	020-0183	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字砂込808	(019)688-5561
修紅短期大学図書館	021-0902	一関市萩荘字竹際49-1	(0191)24-2211
岩手看護短期大学図書館	020-0151	岩手県岩手郡滝沢村大金字千が窪14-1	(019)687-3864
仙台大学附属図書館	989-1693	宮城県柴田郡柴田町船岡南2-2-18	(0224)55-1399
仙台百合女子大学図書館	981-3115	仙台市泉区本田町6-1	(022)374-5090
石巻専修大学図書館	986-8580	石巻市南境新水戸1	(0225)22-7718
東北学院大学中央図書館	980-8511	仙台市青葉区土樋1-3-1	(022)264-6491
同 多賀城キャンパス図書館	985-8537	多賀城市中央1-13-1	(022)368-1206
同 泉キャンパス図書館	981-3193	仙台市泉区天神沢2-1-1	(022)375-1174
東北工業大学附属図書館	982-8577	仙台市太白区八木山香澄町35-1	(022)305-3178
東北福祉大学図書館	981-8522	仙台市青葉区国見1-8-1	(022)717-3319
東北文化学園大学総合情報センター図書館	981-8551	仙台市青葉区国見6-45-1	(022)233-3878
東北薬科大学附属図書館	981-8558	仙台市青葉区小松島4-4-1	(022)727-0061
宮城学院女子大学図書館	981-8557	仙台市青葉区桜が丘9-1-1	(022)279-5658
尚絅学院大学図書館	981-1295	名取市ゆりが丘4-10-1	(022)381-3439
聖和学園短期大学図書館	981-3213	仙台市泉区南中山5-5-2	(022)376-8257
仙台青葉学院短期大学図書館	984-0022	仙台市若林区五橋3-5-75	(022)369-8003
東北生活文化大学・同短期大学部附属図書館	981-8585	仙台市泉区虹の丘1-18-2	(022)272-7518
ノースアジア大学附属図書館	010-8515	秋田市下北手桜字守沢46-1	(018)836-2406
東北芸術工科大学図書館	990-9530	山形市大字上桜田3-4-5	(023)627-2044
羽陽学園短期大学附属図書館	994-0065	天童市大字清池1559	(023)655-2385
東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館	990-2316	山形市片谷地515	(023)688-7544
いわき明星大学図書館	970-8551	いわき市中央台飯野5-5-1	(0246)29-7121
奥羽大学図書館	963-8611	郡山市富田町字三角堂31-1	(024)932-8931
郡山女子大学図書館	963-8503	郡山市開成3-25-2	(024)932-4848
東日本国際大学・いわき短期大学学術情報センター	970-8567	いわき市平鎌田字寿金沢37	(0246)35-0416
日本大学工学部図書館	963-8642	郡山市田村町徳定字中河原1	(024)956-8639
桜の聖母短期大学図書館情報センター	960-8585	福島市花園町3-6	(024)534-7137
福島学院大学図書館情報センター	960-0181	福島市宮代乳児池1-1	(024)553-2087

第64回東北地区大学図書館協議会

第64回 東北地区大学図書館協議会総会



仙台白百合女子大学 和田 学長



仙台白百合女子大学 大本 館長



東北大學 野家 館長



議長団



第64回総会風景



国立部会風景



公立部会風景



私立部会風景

東北地区大学図書館協議会に加盟して

青森中央学院大学・青森中央短期大学
図書館情報センター 葛 西 崇 文

去る平成 21 年 9 月 17 日、仙台白百合女子大学を当番館として、第 64 回東北地区大学図書館協議会総会が仙台市戦災復興記念館で開催されました。この第 64 回総会の場において、青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館情報センターの協議会加盟をご承認いただきましたことを、この場をお借りして、まずは厚く御礼申し上げます。

青森中央学院大学・青森中央短期大学の図書館情報センターは、青森中央学院大学自体が昨年度開学 10 周年を迎えたばかりということもあり、まだまだ成長の途上にあると言えます。そのため、良質な研修会を数多く開催されているこの東北地区大学図書館協議会へ参加させていただいたからには、それらの研修会へ積極的に出席させていただき、そこで学んだことを当センターの運営に取り入れて参りたいという意気込みで、総会後の半年間を過ごして参りました。

2009 年度は総会をはじめとして、11 月のフレッシュ・パーソン・セミナーと、1 月の東北大大学職員総合研修会に参加させていただきましたので、総会を含めまして、これらのセミナー、研修会で感じたことと、特に印象深かったことについてまとめてみたいと思います。

1. 第 64 回東北地区大学図書館協議会総会

総会当日は、私のような若輩者が、新規加盟をご承認いただく総会に一人で出席するということに、大変緊張していたことを覚えております。

ここでは、参加させていただいた総会と私立部会で印象的であった 2 つのお話をについて、簡単にまとめてみます。

1-1. 総会にて

私にとって大変印象的だったのは、東北大大学附属図書館館長の野家先生のご挨拶でした。野家先生は開会式のご挨拶の中で、「情報」と「知識」という二つの言葉についてふれられ、両者の違いについて次のようにお話しされました。「情報とは、ある目的のために短期間必要とされるものであり、流通して消費されるものである。知識とは、継承され、次の世代にまで引き継がれていくものである。時代は情報を重要視し、その潮流は図書館にも影響を与えているが、インターネットで検索すれば容易に手に入れられるような情報ではなく、図書館では知識を扱うべきなのではないか」。

両者の違いについて、全く意識したことがなかった私にとって、大変驚くべきお話しでした。私の普段の業務においては、図書館のカウンターに立って行う業務は少なく、図書館の業務を事務レベルで取りまとめることが多いいため、野家先生のお言葉を常に念頭に置きながら、当センターが「知識」を利用者に提供できるように、今後も業務に取り組んでいきたいと思いました。

1-2. 総会 私立部会にて

私立部会では、研究費で購入した学術雑誌の蔵書登録について、という承認事項の他、いくつかの話題が話し合われましたが、中でも興味深かったのは、オープンキャンパスで図書館を訪れた高校生に、ノーベル賞受賞のきっかけとなった論文を検索させて、その現物を見つけ出してもらう、という取り組みをされている大学のお話をでした。ゲーム的な要素を持たせ、楽しみながら図書館に興味を持ってもらう狙いがあるということで

すが、同時に、図書館では本以外のものも所蔵している、ということに気づいてもらう意図も含まれているそうです。

本学でも、オープンキャンパスなどのイベントで高校生が来館する機会がありますので、館内を案内するだけではなく、高校生に楽しんでもらう一方で、図書館のアピールにもなる何らかの取り組みを企画してみたいと思いました。

高校生のように、未来を担う若者たちが図書館に興味を持ち、所蔵資料を通じてたくさんの「知識」を身につけることができたならば、とてもすばらしいことであると思います。

2. 平成 21 年度東北地区大学図書館協議会フレッシュ・パーソン・セミナー

東北地区大学図書館協議会加盟後、最初に参加させていただいたのは、平成 21 年 11 月 13 日に開催されたフレッシュ・パーソン・セミナーでした。このセミナーは、図書館に勤務して概ね 2 年以内の職員を対象とした、図書館員としての基礎知識を身につけるための研修会であり、図書館業務に携わることとなって間もない私にとって、最適な内容でした。

セミナーでは、4 人の講師の先生方が講義形式でそれぞれのテーマに基づいて講演された後、グループに分かれて班別討議が行われました。ここでは一連の講義と討議について簡単にまとめさせていただき、特に強く感じたことを記してみたいと思います。

2-1. 大学図書館の役割と課題

東北学院大学中央図書館 須田充彦 氏

大学図書館が担う役割について設置基準の点からご説明をいただき、昨今の少子化や電子化などの要因による大学図書館を取り巻く環境の変化と、それに伴って図書館が抱える課題についてお話しいただきました。

須田先生は課題解決のために、計画 (Plan)・実行 (Do)・評価 (Check)・改善 (Act) の 4 つのステップからなる、PDCA サイクルを活用することを紹介されていましたが、私自身の業務を振り返ってみると、計画が不十分であったり、改善が思うようにできなかつたりすることもあるように思いますので、限られた時間をうまく使いながら、しっかりととしたサイクルで業務に取り組めるよう、工夫していきたいと思います。

2-2. カウンターに立つ前に心にとめておきたいポイント集

東北大附属図書館 図書情報係長 渡邊愛子 氏

カウンターでの接遇の基本やレファレンスの基礎をはじめ、国会図書館の Web サイトに掲載されている図書館員として受けてはいけない質問、急病人発生時や災害時などの危機管理についてもお話くださいました。

普段、私は図書館とは別棟の情報処理棟に勤務しているため、図書館のカウンターで学生に接する機会は少なく、利用者から質問を受ける機会はさらに少ないのですが、情報処理棟内でパソコンに関する質問を受けることは多々あります。質問の内容は様々ですが、図書館員として受けてはいけない質問があるように、私の担当業務についても受けてはいけない質問もあるということに気づかされました。

2-3. 目録データの作成と ILL による資料の活用

東北大附属図書館 図書情報係長 渡邊愛子 氏

大学図書館内の各業務の関係性、NACSIS-CAT への遡及登録を推進している最近の傾向や、専任スタッフが減少している現状についてもお話をいただきました。また、ILL についても一連の作業の流れに基づいて説明をいただき、図書館業務の中で小さくない領域を占めているこれらの業務について理解を深めることができました。

2－4. 東北福祉大学図書館における雑誌業務の実態

東北福祉大学図書館 雜誌担当 後藤貴志 氏

東北福祉大学図書館における雑誌業務について、1年間の業務を各月ごとに、非常に丁寧にお話をいただきました。他館の業務内容について、その予算額を含め、すべてオープンにした内容をお聞きしたのは初めてでしたので、大変具体的でわかりやすいご講演でした。

2－5. 班別討議

班別討議のテーマは、「学生にもっと図書館を利用してもらうために、私たち図書館員は今何をすべきか」というものでした。セミナー参加者全員が4グループに分かれ、そこに各班1名ずつ講師の先生方がアドバイザーとして加わり、班別討議が行われました。

私が所属したグループでも、参加者それぞれがテーマについて発表し、その後討議が行われたわけですが、この班別討議のために用意されていた1時間20分ほどの時間があっという間に過ぎてしまったのが何よりも印象的でした。蔵書の冊数や図書館の規模は違っても同じような課題を抱えているものだなと思った場面、なるほどそういう取り組みもできるなど感じた場面などさまざまあり、忌憚のない意見交換をすることができたことが、大変良かったと思います。

フレッシュ・パーソン・セミナーの目的は、大学図書館員としての基礎知識を習得することと、図書館員同士のネットワークを形成することにあるわけですが、今回参加させていただいたセミナーでは、この2つの目的が十二分に果たされていると感じました。

講師の先生方のご講演は、配布資料や話し方の工夫もあって大変わかりやすく、図書館の業務に初めて携わる方にはもちろんのこと、図書館に数年勤務されている方にとっても、基礎的知識や業務に対する姿勢を顧みる良い機会になったと思います。当センターからも私の他に、図書館に勤務して数年が経過している司書が参加させていただきましたが、良い復習の機会になったと話しておりました。

また、セミナーでは班別討議の他にも、昼食時や休憩時に参加の方とお話をさせていただきました。他県の大学図書館に勤務してらっしゃる方と、直接お会いできる機会はなかなかありません。もちろん、メール等の手段で連絡を差し上げることはできますが、互いに顔を向かい合わせて直接交流できたことは、将来にわたって価値のある、人的ネットワーク形成の第一歩であると感じました。

フレッシュ・パーソン・セミナーはその性質上、一度しか参加することができませんが、このセミナーで得た知識と職員間のネットワークをこれからも大切にしていきたいと思います。

3. 平成21年度 東北大附属図書館職員総合研修会

今年度、最後に参加をさせていただいた研修は、東北大附属図書館職員総合研修会でした。この研修会は、私が参加させていただいた1月開催のものとは別に、12月にも開催されました。その際には参加することができず大変残念でした。

私が参加させていただいた回の研修会は、2つの講演で構成されておりましたので、それについて再び簡単にまとめさせていただきます。

3－1. 「次世代図書館システムのデザイン～利用者の思考と図書館員の思考～」

筑波大学図書館情報メディア研究科 准教授 宇陀則彦 氏

2010年3月の稼働開始を予定している、筑波大学の新しい図書館情報システムについて、その構築過程で得られた知見などを紹介いただきながら、利用者の思考に図書館システムはどのように応えていくべきなのか、講演をいただきました。

中でも印象的だったのは、筑波大学で現在運用されている図書館情報システムについて、利用者がどのように感じているのか、という部分です。講演では、利用者は図書館がOPAC以上の機能を提供すると思っておらず、高機能なシステムを用意しても使わないこと、日頃使い慣れているGoogleのようなページを好むこと、検索のレスポンス速度に敏感であること、新しいインターフェースを覚えたがらないことなどが紹介されました。これらの知見は、今後システムの入れ替えやデザインの変更、機能追加などを検討しているどの図書館にとっても非常に有益なのではないかと思います。

利用者の思考を元に、筑波大学では現在、「シンプルでクイック」な、何ができるか一目でわかるシステムを構築中であるということですので、その公開が待ち遠しい限りです。

3－2. 「OPAC の革新を進めて」

農林水産研究情報総合センター 収書管理係長 林賢紀 氏

農林水産研究情報総合センターが目指す、従来のOPACを超えたサービス基盤への取り組みについて、Webブラウザの検索プラグインなど、さまざまなインターフェースで書誌情報が検索可能となっている現状をご説明いただきました。また、利用者が「どこからでも書誌情報を検索できる」ための試みとして、JavaScriptかHTMLコードを貼り付けるだけで、他機関や個人のHP上に農学情報統合検索ウィンドウを設置できるようになっているという取り組みなどをご紹介いただきました。

講演では、様々なインターフェースで蔵書検索への入り口を用意し、どこの入り口を使うかは利用者に任せればよいのではないか、というお話しもあり、宇陀先生の目指す「シンプルで、その機能がすぐわかる」というものとはまた別の、大切な思想であると感じました。

宇陀先生も、林先生も、図書館情報システムについて講演されましたが、講演の中で語られた思想は、画面上のこととかぎらず、実際の図書館でも同じなのではないかと感じました。現実の図書館でも様々なサービスを提供していますが、それらが館内のどこにあり、どうすれば利用できるのかということを利用者に理解してもらうためには、一目でわかるシンプルさを追求すべきなのでしょうか、それとも、同じ機能をたくさん配置して利用者に選択してもらうべきなのでしょうか。考えさせられる講演内容であったと思います。

4. 最後に

東北地区大学図書館協議会に加盟させていただいてからの半年間を振り返りますと、東北地区大学図書館協議会には野家先生がおっしゃる「情報」と「知識」の両方を、加盟館で図書館業務に携わる教職員に提供する体制が整えられていると強く感じます。

研修や、そこで形成された人的ネットワークから新たな「情報」を手に入れ、「知識」を獲得し、それらを各大学へ持ち帰って日々の業務に生かし、利用者へのサービス向上へ役立てる、という良質な連鎖を築くことが、協議会に参加しているどの図書館でも可能なのではないかと思います。青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館情報センターでは、これからも研修会へ積極的に参加し、この連鎖を形成するとともに、それが途絶えてしまわないように努めて参りたいと思います。

最後になりましたが、総会、セミナー、研修会でご講演くださった先生方、その運営を支えていらっしゃるスタッフのみなさまに御礼申し上げます。

図書館業務を通して感じたこと

日本大学工学部
図書館事務課主任 大竹道代

1 電子化に伴う図書費の悩み！

近年、大学図書館を取り巻く環境は、コンピュータに代表される情報機器等の技術革新によって大きく変貌している。情報流通の時代にあって、電子ジャーナルや電子BOOK等の電子媒体が急速に進むにつれ、図書館の業務は多様化し、よりレベルの高い業務が増えている。と同時に、過去には計上されなかった項目の予算措置や図書費の膨張に悩まされている。

例えば、大学での研究活動に欠かせない外国の学術論文雑誌等の購入価格の上昇、電子ジャーナルやデータベース等の契約数の増加など、様々な要因が図書資料費を圧迫しているのが現実である。日本大学の場合、電子ジャーナルやデータベース等は14学部の分担金を合算して購入している。この方式の長所は多種多様の電子ジャーナルやデータベースが自由に利用できることである。しかし、本学部の教員や学生などの研究活動に必要性の少ないものも一部負担しなければならないことも事実である。これらの電子ジャーナルやデータベース等は多くが外国の出版社のもので、検索の仕方も難しく、中々活かしきれないのが現状であって、高額な情報検索料だけが一人歩きをしている感じさえする。反面、これらの文献等は図書としての受け入れや整理・配架等の作業がないので、事務作業の軽減と所蔵書架スペースを圧迫しないというメリットはある。

2 蔵書とスペースの悩み！

所蔵書架のスペースの確保と拡充は各大学の共通した悩みと思われるが、現実は年々蔵書が増え続けている。本学部図書館の書架収容力は約34.4万冊であるが、既に98.6%が蔵書で埋まっているのが現状である。当然、破損や利用価値の少ない書籍は年次計画で除籍しているが、これがまた難しい問題である。

現在は、インターネットで研究活動に必要な学術論文等を容易に検索入手できるネット・ワークが学内に整備されているが、本学部生の日頃の学習においては、書籍が手元に無いと不便なこともあるので、書籍の購入は避けられない。

これらの問題を抱えながら、学生への学習支援サービスが低下しないかと悩む日々が続いている。

また一方、図書館の利用法も、早くからパソコンを取り入れた授業を受けた生徒が大学教育を受ける時代になり、変化してきている。本学部の学生もパソコンには慣れているが、中には、図書館でOPAC（所蔵目録データベース）を使って図書を検索することに苦慮しているような学生も見受けられる。こうした学生への学習支援サービスのひとつとして、情報リテラシー教育の必要性を感じている。このリテラシー教育は、教員と連携して取り組むことが重要である。このとき、教員と図書館事務職員との情報交換や共同作業等の場所の提供など、やるべきことの再確認が大事になってくると思う。

3 開かれた大学図書館としての人材確保の悩み！

大学図書館のサービス機能の一つとして、学外の一般利用者の視点からのサポートも学内の学習支援と同様に充実する必要がある。本学部図書館の過去3年間の一般利用者の図書貸出冊数は177冊・279冊・402冊と増え、今後益々一般利用者の増加が予想される。それには、専門知識や国際感覚を持った図書館職員が居れば良いのだが、現在十分とは言えない状況にある。これらの人材確保や育成のためにも研修会や講演会などへの参加を奨励し、職員のスキルの向上を図っていくことが不可欠ではないかと感じている。

さらに、大学図書館には、地域社会との一層の連携が求められている。特に、本学部図書館は多くの工学・技術書を所蔵している。これらの資産の社会還元という図書館の役割を考えたとき、地域産業界との交流を通して、開かれた大学図書館の機能を十分に生かせるような案づくりが今後必要であると思われる。

第5回を迎えた『言語力』大賞コンテスト

弘前大学学術情報部学術情報課
情報サービスグループ係長 齋 藤 香 織

今回は、当館主催で行っている弘前大学学生『言語力』大賞コンテストについて、実行委員を務めている関係上、私より紹介させていただきます。

このコンテストは平成17年（2005）度より毎年行っており、今年度で第5回を迎えました。そもそもの起こりは、平成17年7月29日に公布・施行された「文字・活字文化振興法」により、「文字・活字文化の日」が制定されたことにちなみ、学生の皆さんに『言語力』を養うための契機になれば、ということで企画されたものです。なお、この法律では、『言語力』とは「読む力及び書く力並びにこれらの力を基礎とする言語に関する能力」と定義されています。

第1回は「I 文章表現のみによる部門」「II テーマを選択し、公開プレゼンテーションを含む部門」の2部門に分けて募集を行いました。短い募集期間ながら、I部門は12件の応募があったのですが、II部門は応募が0でした。そのため、第2回目以降、より応募しやすいよう、II部門は評論に変更いたしました。この5年の間、全部で100件強の応募がありましたが、どうもI部門の創作に偏りがちで、II部門の評論は合計しても10件未満となっています。

応募作品については、毎年各実行委員が全作を読み、それぞれ順位とコメントをつけた後、委員会で協議して受賞作を決定するようにしています。この順位をどのように作品の評価に反映させるかが実は意外に難しく、第1回以来、試行錯誤を繰り返してきました。例えば5段階評価でつけた場合、同点1位が何作も出る恐れがあります。1位から最低位まで全て順位をつけ、全員分の順位の合計点が少ないほど上位とした年もありました。この場合は、下位の作品ほど順位づけが難しくなる、また、多くの人が高い順位をつけても1人がずっと下の順位をつけると、大幅に順位が下がってしまう、といった問題が出ました。今年度は上位5作のみ順位を付すことにしましたが、今まで一番分かりやすい順位づけになったと思います。

その他にも、毎年細かい部分で変更を加えています。主なものは、①宣伝用の葉を作成し、図書に挟んで貸出し（第5回）、②学外の有識者（弘前ペンクラブ会員）にも実行委員を依頼（第4回～）、③応募者に面識がある場合、客観的に評価できなくなる恐れがあるとのことで、受賞作が決定するまでは無記名の状態で評価・審議する（第3回～）等です。

今後の課題としては、①広報にもっと力を入れ、応募者を増やすこと、②評価基準を明確化すること、③II部門の応募を増やすこと、といったことが挙げられます。

最後に宣伝です。今年度は本学の創立60周年でもありましたので、記念事業の一環として、第1回～5回の大賞および優秀作計11点を、この平成22年3月に1冊の本として刊行することになりました。サイズ、ページ数ともコンパクトな本になる見込みですが、ご購入いただけましたら、大変ありがとうございます。本学の出版会からの刊行となり、全国の大学生協を通じて購入可能です。作品自体は当館のホームページにも掲載しておりますので、そちらの方もあわせてご覧ください。

1. 弘前大学附属図書館ホームページ <http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/>
2. 弘前大学出版会ホームページ <http://www.hirosaki-u.ac.jp/hupress/>

八戸工業大学メディアセンター開館

平成 21 年 10 月 9 日、八戸工業大学メディアセンターが完成し、その竣工式典が行なわれた。同センターは本学図書館の直接の付属施設とはなってないが、現図書館の機能を充分に補完するものとしてその有効利用が期待されている。

1. 本学及び図書館の概要

八戸工業大学の略年譜は以下の通りである。

昭和 31 年（1956）本学の前身である八戸高等電波学校が開校

昭和 47 年（1972）八戸工業大学を設置

平成 7 年（1995）八戸工業大学大学院工学研究科を設置

現在、工学部 5 学科（機械情報技術学科、電気電子システム学科、システム情報工学科、バイオ環境工学科、土木建築工学科）・感性デザイン学部 1 学科（感性デザイン学科）および大学院工学研究科博士前期・後期両課程 4 専攻（機械・生物化学工学専攻、電子電気・情報工学専攻、土木工学専攻、建築工学専攻）を有する。

本学の図書館は開学と同時に開館した。現在の施設は、学生閲覧室、新聞閲覧室、雑誌閲覧室、書庫、事務室、AV ホール、パソコンラボからなっており、総床面積 2,512 m²、総座席数 462 席である。そのうち学生閲覧室は床面積 325 m²、座席数 108 席である。蔵書数は AV 資料も含め約 130,000 点、学生閲覧室入場者数は年間約 20,000 人である。

2. 八戸工業大学メディアセンター開館

八戸工業大学メディアセンターは、八戸工業大学の創立 30 周年（平成 14 年）の記念事業として計画された。

大学の正門を入り正面に見える白いモダンな一部 2 階建て、延床面積約 500 m² の建物である。照明器具には、省エネルギーを考慮した LED が採用され、壁面にはシックハウスを防止するホタテ貝殻を原料とした抗菌剤（本学が企業と共同開発）が塗布されている。さらに、屋内外の段差のあるところにはすべてスロープが設けられ、車椅子対応の多機能トイレなど、環境・エネルギー及び地球温暖化対策に取り組む八戸工業大学の考えが随所に活かされている。西側のゾーンは、団欒と憩いの広場と軽食喫茶コーナー、東側のゾーンは、学生の学習室、講演会、公開講座、コンサートなどの催し物に利用できる吹き抜けの多機能コミュニケーションスペースである。2 階には 2 つの会議室が設けられている。建物の内部は、どこからでも無線でインターネットに接続可能で、持ち込んだパソコンを自由に使うことができる。また、1 階、2 階それぞれの IT コーナーには備え付けのパソコンもある。

メディアセンターは、図書館と隣接するように設置されており、同センターから本学の図書検索も可能である。また、同センターの学習自習室は、図書館の学生閲覧室に比し静謐性の要求が低くなっている。討議を含めた集団学習が可能となっている。さらに、映写や視聴のできる大型スクリーンも完備されている。学習に疲れたら喫茶スペースでの休憩も取りやすい。その利用方法は工夫次第であり、手狭になっている学生閲覧室を補完するものとして期待されている。新たな教育及び学術情報交換の場としてのみならず、学生と地域住民との連携交流の場など、あらゆるコミュニケーションの場として、そして情報発信の拠点としてその活用が期待されている。



石巻専修大学図書館

(大学の概要)

本学は、130年の伝統を有する専修大学が念願であった「理工系学部を有する新大学」を設置するため、石巻地域からの校地提供という多大なる援助を基に、専修大学の建学の精神である「社会に対する報恩奉仕」を東北の地で実践し、地域はもとより、広く国際社会の発展に寄与する高度な専門知識と、豊かな教養を身につけた有為な人材を育成することを目的として設置されました。本学の教育理念は、「国際化」「情報化」「学際化」および「統合化」の4つに集約されます。国際化教育では、グローバルな発想、理解、思考能力を持ち、国際社会で良好なコミュニケーションを開拓し得る人材を育成。情報化教育では、新しい情報技術の担い手として、また、それを駆使できる、さらにそれを通じて情報創造を成し遂げる人材を育成。学際化および統合化教育では、それぞれの専門領域を踏まえながら、それを超えた広い視野を持つことによって、新しい認識を拓き得る人材を育成。これらの教育理念のもとに、平成元年4月、理工学部と経営学部の2学部により石巻専修大学が開学しました。

(図書館の概要・蔵書)

図書館は開学(平成元年)と同時に設置され、大学と歩みをともにしてきました。オープン当時は姉妹校の専修大学から寄贈本を受けたり、図書館業務の基礎について修得しながら利用者サービスを行ってきました。その後は理工学部・経営学部、それを基礎とする大学院(修士・博士後期課程)を持つ本学の特徴に合った図書館作りに傾注し、今では和書98,000冊、洋書57,000冊あわせて15万冊を超える蔵書数となりました。雑誌も約2,000タイトルを数え、近年は雑誌から電子ジャーナルへの転換や、各種データベース(Web Of Scienceなど)の導入を行っています。

(利用状況とサービス体制)

閲覧できる座席数は261席(全学生数の約13%)。開館は月曜日～金曜日が9:00～19:30、土曜日(授業実施時のみ)9:00～15:00となっています。一般への開放・利用サービスは、学生とほぼ同じですが、図書の貸出は高校生以上に限定しています。外部からの入館者は年々増加しており、21年度は初めて300名を超えるました。

(今後の課題と取り組み)

今我々が抱える課題は次の通り。

- ①図書館職員の技術向上。
- ②図書・雑誌の所蔵スペース確保。
- ③年1回の図書館主催企画。
- ④機関リポジトリの導入。
- ⑤ラーニング・コモンズの設置。

以上5つですが、特に③は過去に「創立20年記念展」「絵本原画展」を行って好評を博してきました。④は現在、学位論文や学内研究紀要の電子化を徐々に始めており、試験運用も間近です。⑤は来年度に、Windows7を搭載した教育用PCが新設されるのに合わせて2階閲覧席の8席を改修し、OPAC検索はもちろん、D1-Law.comやWeb Of Scienceなどのデータベース検索ができる「キャレル」を目指した『ラーニング・コモンズ(右写真)』を開設します。

22年度は初期導入であり、今後も年次計画で増設する予定です。



2010年4月開設「ラーニング・コモンズ」

第 64 回東北地区大学図書館協議会総会日程

開催期日 平成 21 年 9 月 17 日（木）
会場 仙台市戦災復興記念館 5 階会議室
仙台市青葉区大町 2 丁目 12-1
TEL 022-263-6931 FAX 022-262-5465

日 程	5. 部 会 14:10 ~ 15:40	
1. 受付 12:30 ~ 13:00	国立大学部会 4 階第 3 会議室	
2. 開会式 13:00 ~ 13:20 仙台市戦災復興記念館 5 階会議室	公立大学部会 4 階第 5 会議室	
(1) 開会の挨拶	私立大学部会 4 階第 4 会議室	
当番館 仙台白百合女子大学図書館 館長 大本 泉	< 休憩 10 分 >	
(2) 歓迎のことば	6. 全体会議 15:50 ~ 16:50	5 階会議室
当番大学 仙台白百合女子大学 学長 和田 美稚子	① 各部会からの報告	
(3) 挨拶 常任幹事館 東北大学附属図書館 館長 野家 啓一	② 質疑応答	
3. 議長団選出	③ その他	
4. 総会	7. 閉会式 16:50 ~ 17:00	
(1) 報告事項 13:20 ~ 13:40	(1) 次期当番館あいさつ	
① 平成 20 年度会務報告について	(2) 閉会のあいさつ	
② 平成 20 年度一般報告及び各部会報告について	仙台白百合女子大学図書館 館長 大本 泉	
③ 研修部会からの報告について		
④ ウェブサイト運用部会からの報告について		
⑤ その他		
(2) 協議事項 13:40 ~ 14:10		
① 新規加盟館について		
② 平成 20 年度決算報告（案）について		
③ 平成 20 年度記念事業基金決算報告（案）について		
④ 平成 20 年度会計監査報告について		
⑤ 平成 21 年度事業計画（案）について		
⑥ 平成 21 年度予算（案）について		
⑦ 平成 21 年度記念事業基金予算（案）について		
⑧ 平成 21 年度合同研修会について		
⑨ フレッシュ・パーソンセミナーの開催について		
⑩ 第 65 回総会の当番地区（館）について		
⑪ 役員館の改選について		
⑫ その他		
(3) その他		
承合事項 (宮城大学提出)		
・ 研究費で購入した学術雑誌の蔵書登録について		

第64回総会資料

協議題(総会)

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

1. 新規加盟館について

[提案理由]

仙台青葉学院短期大学図書館、東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部図書館及び青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館情報センターから、新規加盟の申請があったので、加盟について審議願いたい。

新規加盟館紹介

仙台青葉学院短期大学図書館

1. 大学紹介

・所在地 〒984-0022

宮城県仙台市若林区五橋三丁目5-75

仙台青葉学院短期大学

TEL 022-369-8000

本学は「豊かな人間性を育てる教養教育」「良好な人間関係を築く対人教育」「地域社会に貢献しうる実学教育」という3つの建学の精神を掲げ、平成21年4月、仙台市若林区に開設されました。

短期大学の名称の「青葉(せいよう)」には、本学で学ぶことにより、杜の都仙台の「青葉」のように生き生きと、また「せいよう」という音がもたらす響きのよう伸びやかに育って欲しいという願いが込められています。

「看護学科」「キャリアデザイン学科」の2学科で構成され、平成21年4月現在、1学年計151名の学生が在籍しております。建学の精神に基づき、コミュニケーション能力と専門知識を身につけた、相手の気持ちを理解できる職業人の育成をめざしています。

2. 図書館概要

・図書館名 仙台青葉学院短期大学図書館

・図書館長 中嶋隆三

・電話 022-369-8003

・FAX 022-215-0950

図書館は講義棟1階南側に位置する全面開架式の図書館です。小規模ではありますが、自然光が多く差し込み、ほぼ全ての資料を自由に閲覧することができます。利用者用パソコンが4台設置され、蔵書検索やインターネット検索に利用されています。視聴覚コーナーでは、ビデオ、DVD、CDを視聴することができます。

(1)延べ床面積 214m²

開架書架 約7000冊(※2009年度内受入予定)

閲覧座席 50席

視聴覚コーナー 4席

検索用パソコン 4台

(2)蔵書数 図書 一冊／視聴覚 一点／雑誌 52種／

新聞 3種

(3)館員 1名(専任)

新規加盟館紹介

東北生活文化大学・

東北生活文化大学短期大学部附属図書館

1. 大学紹介

・所在地 〒981-8585

宮城県仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2

東北生活文化大学・

東北生活文化大学短期大学部

TEL 022-272-7511(代表)

東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部は、学校法人三島学園東北女子職業学校を前身としている。三島学園は明治33(1900)年に東北法律学校、3年後に東北女子職業学校として創設された。

仙台市における先駆的女子教育機関として地歩を固め、戦後の学制改革を経て、昭和26(1951)年に三島学園女子短期大学を、昭和33(1958)年には三島学園女子大学を開校した。昭和62(1987)年に大学が男女共学制となり、校名を東北生活文化大学と改称した。その後、短期大学も同様に男女共学を取り入れ、東北生活文化大学短期大学部と改称した。

現在、大学は家政学科(服飾文化専攻、健康栄養学専攻)、生活美術学科の2学科、短期大学部は生活文化学科(生活学専攻、子ども生活専攻)の学科からなっている。

本学は一世紀にわたり「地域社会の生活文化の向上を図る」とした建学の精神のもと生活に密着した教育と創造力あふれる人材の育成をめざしている。

2. 図書館概要

・図書館名 東北生活文化大学・

東北生活文化大学短期大学部附属図書館

・図書館長 近江惠美子

・電話 022-272-7518

・FAX 022-301-5601

(図書館紹介)

大学図書館は、1951(昭和26)年の女子短期大学の設置とともに発足し、その後、1958(昭和33)年の女

子大学家政学科、1965（昭和40）年の生活美術学科の開学を機として、蔵書内容を一層充実させ、研究活動および教育活動の両面において、附属図書館としての機能が十分はたされることになった。現在の図書館は1987（昭和62）年に開館したものであり、利用しやすいように設計された本格的図書館である。

さらに、2003（平成15）年の大学家政学科に健康栄養学専攻の設置、2005（平成17）年の短大に子ども生活専攻の設置に伴って、新分野の蔵書が加えられた。

近年はコミックや視聴覚資料の充実にも勤めている。

蔵書数は約65,100冊で、特に美術・工芸、染織・服飾に関する図書は、他に誇り得るものを数多く備えている。これらの蔵書については、本学の学生、教職員のみならず、各方面の人々からの利用希望についても配慮している。

(1)延べ床面積 672m²

開架書庫	約45,100冊
閲覧座席	76席
移動書架	約20,000冊
検索用パソコン	1台
事務室・その他 AVコーナー	1席

(2)蔵書数 図書 65,100冊

視聴覚資料	1,480点
雑誌	250種
新聞	2種

(3)館 員 2名（専任1名、臨時1人）

新規加盟館紹介

青森中央学院大学 青森中央短期大学図書館情報センター

1. 大学紹介

- ・所在地 〒030-0132 青森県青森市横内字神田12番
学校法人青森田中学園 青森中央学院大学 青森中央短期大学
TEL：017-728-0131（代表）
FAX：017-738-8333（代表）

学校法人青森田中学園は昭和21（1946）年青森珠算簿記学校（現青森中央経理専門学校）、青森裁縫学院（現青森中央文化専門学校）として創立され、昭和45（1970）年に青森中央女子短期大学（現青森中央短期大学）、平成10（1998）年に青森中央学院大学を開設し、現在、大学院・大学・短期大学・専門学校・幼稚園を擁しております。

青森中央学院大学は、日本で最初の経営法学部と大学院地域マネジメント研究科を、青森中央短期大学は食物栄養学科、幼児保育学科、看護学科と専攻科福祉

専攻の3学科1専攻を有し、建学の精神「愛あれ、知恵あれ、真実（まこと）あれ」を基に、八甲田山の麓の横内キャンパスで、地域に根ざし国際的な視野を持った専門職業人の養成を行っています。

2. 図書館概要

- ・図書館名 青森中央学院大学 青森中央短期大学図書館情報センター

- ・図書館長 木村良一

本学図書館では、“ミッションステートメント”を掲げ、図書館が担う使命を明確にした上でその実現に努めています。本学図書館の“ミッションステートメント”とは、学生および教職員の教育・研究活動を支援すること、ならびに地域に奉仕することを使命として定めたものです。これに基づき、本学園の建学の精神「愛あれ、知恵あれ、真実（まこと）あれ」に通じた、関連図書を多方面から収集しています。

(1)延べ床面積 1,307m²

閲覧座席	186席
AVコーナー	10席
グループ閲覧室	3室
検索用パソコン	10台
ノートパソコン	12台

(2)蔵書数：72,535冊／視聴覚：988点／雑誌：222種
／新聞：9種

(3)館 員 3名

会 務 報 告

（常任幹事館：東北大学附属図書館）

昨年9月いわき明星大学を当番館として開催された第63回総会以降の会務については、次のとおりである。

1. 平成20年度末加盟館数

本協議会の加盟館数は、第63回総会以降、加盟館数に変更はなく現在、国立15館、公立12館、私立34館計61館となっています。

2. 平成20年度 東北地区大学図書館協議会合同研修会実施状況

期 日：平成21年6月26日（金） 11：30～17：00

会 場：八戸大学・八戸短期大学

美保野キャンパス

[基調講演]

「図書館員のスキルアップを図るために

—司書の専門性から図書館員のSDとFDを考える—」

講師 小松 良重（八戸大学・八戸短期大学図書館）

[テーマ別情報交換会]

① 図書館の利用者教育について

- ② 資料収集(図書選定)および保存・管理について
- ③ 図書館の広報活動について
- ④ 大学図書館の新たなサービスの導入・展開について

参加者：国・公・私立各加盟 25館から35名

3. 会誌の発行

東北地区大学図書館協議会誌 第60号(記念特集号)
は、平成21年6月に450部発行し、加盟61館及び関係機
関等へ発送した。

4. 幹事会について

- ① 平成21年7月24日(金) (於：東北大学附属図書館)
(1)第64回総会及び部会の議題等について

(2)その他

- ② 平成21年9月17日(木) 開催

(於：戦災復興記念館)

(1)第64回総会及び部会の運営について

(2)その他

5. 記念事業基金の造成について

平成20年度通常会計から記念事業基金として、91,500
円を繰り入れた。

6. 平成20年度会計監査について

9月7日東北大学附属図書館において、会計監査館
青森県立保健大学及び東北学院大学中央図書館による
会計監査を受けた。

一般 報 告

——国・公・私立大学図書館の動き——

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

○会議等関係

- 1. 外国雑誌センター館会議について
- 2. 日本医学図書館協会総会について
- 3. その他

○研修・講習会等関係

- 1. 目録システム講習会

[図書コース]

期 間：第1回 平成21年5月20日(水)
～5月22日(金)

第2回 平成21年6月3日(水)
～6月5日(金)

第3回 平成21年7月15日(水)
～7月17日(金)

第4回 平成21年8月26日(水)
～8月28日(金)

第5回 平成21年10月14日(水)
～10月16日(金)

第6回 平成21年12月16日(水)
～12月18日(金)

[雑誌コース]

期 間：第1回 平成21年6月17日(水)
～6月19日(金)

第2回 平成21年7月22日(水)
～7月24日(金)

第3回 平成21年10月7日(水)
～10月9日(金)

第4回 平成21年11月4日(水)
～11月6日(金)

場 所：国立情報学研究所

2. 目録システム地域講習会

[図書コース]

期 間：平成21年5月27日(水)～5月29日(金)
場 所：東北大学附属図書館

3. ILLシステム講習会

期 間：第1回 平成21年6月8日(月)
第2回 平成21年7月6日(月)
第3回 平成21年7月27日(月)
第4回 平成21年12月7日(月)

場 所：国立情報学研究所

4. 学術ポータル担当者研修

期 間：平成21年9月9日(水)～9月11日(金)
場 所：国立情報学研究所

5. 大学図書館職員短期研修

期 間：平成21年10月27日(火)～10月30日(金)
場 所：東京大学

6. 学術情報リテラシー教育担当者研修

期 間：平成21年11月18日(水)～11月20日(金)
場 所：国立情報学研究所

7. ネットワークセキュリティ対策技術研修

期 間：平成21年11月11日(水)～11月13日(金)
場 所：国立情報学研究所

8. NAC S I S - C A T / I L L ワークショップ

期 間：平成21年12月2日(水)～12月4日(金)
場 所：国立情報学研究所

9. 平成21年度大学図書館職員長期研修

期 間：平成21年7月6日(月)～7月17日(金)
場 所：筑波大学

10. 平成21年度漢籍整理長期研修(初級・中級)

期 間：平成21年6月15日(月)～9月4日(金)
場 所：東京大学東洋文化研究所

11. 平成21年度漢籍担当職員講習会

期 間：平成21年10月5日(月)～10月9日(金)

- 場 所：京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター
12. 第24回西洋社会科学古典資料講習会
期 間：平成21年11月10日（火）～11月13日（金）
場 所：一橋大学佐野書院
13. 第10回「西洋古典資料保存講習会」
期 間：平成21年 7月13日（月）～7月15日（水）
場 所：一橋大学図書館
14. 平成21年度図書館等職員著作権実務講習会
期 間：平成21年 9月 2日（水）～9月 4日（金）
場 所：関西会場 京都大学吉田南4号館
(吉田キャンパス吉田南構内)4共30教室
平成21年 9月 9日（水）～9月11日（金）
東京会場 東京大学教養学部13号館
(駒場キャンパス) 1323教室

国立大学部会関係

（幹事館：東北大学）

- 第7回国立七大学附属図書館長会議
(平成20年11月14日 北海道大学)

協議事項

1. 今後の図書館経営の諸課題について
2. その他

- 第41回国立七大学附属図書館事務部課長会議
(平成20年11月14日 北海道大学)

協議事項

1. 大学図書館の学生支援の方策について
2. 図書館施設の改修と新たなサービスの提供について
3. 大学図書館の事務組織について
4. 図書館資料の資産登録状況について：現状と対応策
5. 法人化後の図書系幹部職員の人事の在り方について

- 第82次国立七大学附属図書館協議会
(平成20年11月14日 北海道大学)

協議事項

1. 大学図書館の学生支援の方策について
2. 電子ジャーナルの持続的利用と国立大学図書館協会によるOpen Accessに関する声明文について
3. 電子リソースの管理システム資料分担保存とデリバリーについて
4. 機関リポジトリを活用した学術情報流通改革の促進について
5. 図書館システムについて

- 平成20年度国立大学図書館協会東北地区協会事務連絡会議

(平成20年11月27日 山形大学)

協議事項

1. 国立大学図書館協会の地区割りと理事数の変更について
2. 国立大学図書館協会の監事選出方法について
3. 国立大学図書館協会東北地区協会会則等の改正について
4. 東北地区協会の事業について
5. 平成21年度目録システム地域講習会について
6. 地区内における図書系職員の採用及び人事交流について
7. その他

- 第40回国立大学図書館協会東北地区協会総会

(平成21年 4月23日 秋田大学)

協議事項

1. 国立大学図書館協会東北地区協会会則等の改正について
2. 国立大学図書館協会東北地区協会理事・監事・当番館の順番について
3. 東北地区協会の事業について
4. 第56回国立大学図書館協会総会に向けての準備事項等について
5. 電子ジャーナル、データベースの経費負担について

- 第56回国立大学図書館協会総会

期 日 平成21年 6月19日

会 場 新潟コンベンションセンター
「朱鷺メッセ」

当番地区 関東甲信越地区協会

当 番 館 新潟大学附属図書館

協議事項

1. 平成20年度決算報告・同監査報告について
2. 平成20年度記念基金収支決算報告・同監査報告について
3. 平成20年度事業計画（案）について
 - ・委員会の見直しについて
 - ・国立大学図書館協会シンポジウムについて
 - ・地区助成事業の見直しについて
4. 平成21年予算（案）について
 - ワークショップ
 - ・学術情報流通改革における電子ジャーナル及び学術機関リポジトリの整備について

- ・学習・教育活動と連携した図書館サービスについて
- ・電子ジャーナルの持続的利用を目指した学術情報流通改革について

平成21年度事業計画（案）

(1)委員会の見直し及び主な活動

- ① 学術情報流通改革検討委員会の設置（21. 22年度）
- ② 国際学術コミュニケーション委員会の学術情報委員会への統合
- ③ 学術情報委員会の再編
- ④ 総務委員会（従来どおり常置）
- ⑤ 人材委員会（従来どおり常置）

(2)館長フォーラム、マネジメント・セミナーの開催について

期　　日：6月20日（土）

会　　場：万代シルバーホテル

開催テーマ：

○ 館長フォーラム

- ① 第Ⅰ期中期目標・計画に関する総括
- ② 魅力ある図書館をどう構築するか
—学生・教員・地域住民の3方向を考える—

○ マネジメント・セミナー

大学運営の中での図書館職員のあり方

(3)国立大学図書館協会シンポジウムの開催について

・開催時期：平成21年11～12月

・会　　場：東地区 一橋大学（12/15）

　　　　西地区 神戸大学（11/20）

・テー マ：「利用者から学ぶ

—個性的で多様な図書館サービスに向けて—」

(4)学術情報流通改革ワークショップ等の開催について

(5)地区活動の助成について

(6)海外派遣事業について

○平成21年度外国雑誌センター館会議

（平成21年5月19日 東京大学）

協議事項

1. 外国雑誌センター館活動評価について
2. その他

○第80回医学図書館協会総会

（平成21年7月6、7日 国立医療科学院）

協議事項

1. 平成20年度事業報告について
2. 平成20年度決算報告・監査報告について
3. 平成21年度事業計画（案）について

4. 平成21年度予算（案）について
5. 理事会提案議題
 - (1)第81回以降の総会運営について
 - (2)第81回総会終了後の中央事務局運営について

公立大学部会関係

（幹事館 岩手県立大学）

○第41回（平成21年度）公立大学協会図書館協議会総会

期　　日：平成21年8月7日（金）

会　　場：大阪府大阪市 ホテルアヴィーナ大阪

開催館：大阪府立大学

文部科学省行政説明

研究振興局情報課学術基盤整備室情報研究推進専門官

膝館 俊広 氏

基調講演

「電子ジャーナル・データベース導入にかかる公私
立大学図書館コンソーシアムPULCの形成について—
回顧と展望—」

早稲田大学図書館事務部長 中元 誠 氏

議事

報告事項

- (1) 平成20年度事業報告
- (2) 平成20年度決算報告及び監査報告
- (3) 相互協力委員会報告
- (4) HP委員会報告
- (5) その他

協議事項

- (1) 平成21年度事業計画（案）について
- (2) 平成21年度予算（案）について
- (3) 公立大学協会図書館協議会表彰規程による表
彰について
- (4) 公立大学協会図書館協議会研修会について
- (5) 筑波大学主催大学図書館職員長期研修参加者
の推薦について
- (6) 平成21年度相互協力委員会について
- (7) 平成21年度HP委員会について
- (8) 役員の選出について
- (9) 関係委員会委員等の推薦について
- (10)「内規申合せ事項」の改正について
- (11)事務の簡素化および見直しについて
- (12)承合事項 機関リポジトリへの各大学の取組み
について
- (13)その他

○平成21年度公立短期大学図書館協議会総会

期 日：平成21年8月20日（木）

会 場：秋田県秋田市 秋田公立美術工芸短期大学

開催館：会津大学短期大学部附属図書館

議 題

(1) 報告事項

ア 平成21年度役員紹介

イ 平成20年度事業報告及び関連事業報告

ウ 平成20年度決算報告及び監査報告

エ 平成21年度地区協議会活動報告

(2) 協議事項

ア 平成21年度事業計画（案）及び予算（案）について

イ 平成22年度役員館（案）について

(3)その他

ア 役員館の輪番の確認について

○平成21年度公立短期大学図書館協議会職員研修会

期 日：平成21年8月21日（金）

会 場：秋田県秋田市 秋田公立美術工芸短期大学

開催館：秋田公立美術工芸短期大学附属図書館

講 演

「24時間オープン図書館の実情と課題について」

　　国際教養大学図書館 館長 勝又 美智雄 氏

○平成21年度公立大学協会図書館協議会研修会

期 日：平成21年8月21日（金）

会 場：大阪府大阪市 大阪市立大学学術情報総合センター

担当館：奈良県立医科大学附属図書館

　　和歌山県立医科大学図書館

テーマ

「ホームページ講習会」

－基本的な仕組み・成り立ちを理解しよう－

○平成21年度公立大学協会図書館協議会東部地区館会議

期 日：平成21年8月21日（金）

会 場：宮城県黒川郡 宮城大学大和キャンパス

担当館：宮城大学総合情報センター

協議事項

1. 「公立大学協会図書館協議会研修会の担当館の決定方法について」

（青森県立保健大学附属図書館）

2. 「東部地区における役員ローテーションについて」

（宮城大学総合情報センター）

承認事項

1. 「除籍後の資料の取扱いについて」

（提案館：公立はこだて未来大学 情報ライブラリー）

2. 「大学図書館業務の委託について」

（提案館：群馬県立女子大学附属図書館）

3. 「大学図書館の新築について」

（提案館：群馬県立女子大学附属図書館）

4. 「貸出資料の返却にかかる長期延滞者に対する改善方法について」

（提案館：高崎経済大学附属図書館）

私立大学部会関係

（幹事館：東北福祉大学、郡山女子大学）

○私立大学図書館協会・東地区部会を中心

（平成20年9月1日～平成21年8月31日）

加盟校 514校（2009年4月1日現在）

うち東地区部会 255校

うち東北地区 22館

*東北地区加盟校（50音順）

秋田看護福祉大学附属図書館、石巻専修大学図書館、いわき明星大学図書館、奥羽大学図書館、郡山女子大学図書館、尚絅学院大学図書館、仙台白百合女子大学図書館、東北学院大学中央図書館、東北芸術工科大学図書館、東北工業大学附属図書館、東北女子大学附属図書館、東北福祉大学図書館、東北文化学園大学総合情報センター図書館、東北薬科大学附属図書館、日本大学工学部図書館、ノースアジア大学附属図書館、八戸工業大学図書館、八戸大学・八戸短期大学図書館、東日本国際大学昌平図書館、富士大学図書館、宮城学院女子大学図書館、盛岡大学図書館、

○私立大学図書館協会第69回（2008年度）総会・研究大会

メインテーマ：「大学図書館と博物館・文書館との連携」

日 時：2008年9月11日～12日

会 場：國學院大學

総 会

I 協会賞（2007年度対象業績）

「デジタルで読む福澤諭吉」慶應義塾大学メディアセンター

II 研究助成（2008年度対象）

III 会務報告（2007年度）

IV 委員会報告

V 協会関連事項報告

VI 2008年度私立大学図書館協会役員校、委員会および協会関連団体等委員

VII 総会議案

第1号議案 2007年度一般会計・特別会計決算報告（案）について

第2号議案 2008年度事業計画（案）について

第3号議案 2008年度一般会計・特別会計予算(案)について

第4号議案 新規加盟校（案）について

第5号議案 2009年度－2010年度役員校について
記念講演

「國學院大學の古典籍—『竹取物語絵巻』・『住吉物語』を中心として—」

國學院大學文学部教授 針本 正行
研究大会

1 報告 (1) 2007年度海外集合研修報告

報告者 亜細亜大学図書館 藤懸 徳仁
相模女子大学附属図書館 中戸川陽子
明治学院大学図書館 秋山美佐子
広島経済大学図書館 宮原 詩麻
上智大学図書館 久保 元子
女子栄養大学図書館 武尾 亮

2 報告 (2) 2007年度海外派遣研修報告

報告者 立教大学図書館 伊藤 秀弥

3 研究助成発表

「実績（量・質）評価可能な業務委託仕様書および
数値化を伴う実績評価方法モデル作成の可能性に
関する基礎的調査分析」

立教大学図書館 塩野 博雄

4 講演 (1)

「大学図書館とアーカイブズ」

学習院大学文学部教授 保坂 裕興

5 講演 (2)

「大学図書館と文書館・博物館との連携：主に博物
館に注目して」

近畿大学短期大学部教授 田窪 直規

○2008年度私立大学図書館協会東地区部会研究部研修会

テーマ：図書館評価—図書館サービスを自己満足で終
わらせないために—

期 日：2008年10月23日（木）～10月24日（金）

会 場：明治大学中央図書館

見 学：明治大学図書館・博物館

内 容：

第1日

基調講演：「図書館評価のツボと落とし穴」

慶應義塾大学文学部 教授 糸賀 雅児 氏

講 演：「国立大学図書館と評価の仕組み」

名古屋大学附属図書館 情報管理課課長補佐

蒲生 英博 氏

講 演：「利用者の視点からの図書館サービス評価」

慶應義塾大学文学部 講師 須賀 千絵 氏

第2日

事例報告：「学生の情報リテラシーに与える図書館利
用教育の効果：国際基督教大学における評価の試み」

国際基督教大学図書館 館長代行 畠山 珠美 氏

事例報告：「明治大学図書館「図書館活用法」プログ
ラム評価活動」

明治大学図書館評価チーム

事例報告：「指定管理者による千代田図書館運営の評
価と指標」

千代田図書館 サービスプロデューサー

梶川 悅子 氏

講 演：「電子図書館評価を意識したシステム設計」

筑波大学 図書館情報メディア研究科

准教授 宇陀 則彦 氏

○2008年度研究会（交流会）

日 時：2008年11月14日（金）

会 場：東京経済大学

内 容：

(1)講 義

行列のできる講座とチラシの作り方

N P O 法人 男女共同参画おおた 牟田 静香 氏

(2)研究分科会活動中間報告

研究分科会の活動中間報告

○私立大学図書館協会2009年度東地区部会総会・館長会・
研究講演会

日 時：2009年6月12日（金）

会 場：獨協大学 天野貞祐記念館 大講堂

議 事：

(1)報告事項

① 2008年度 東地区部会会務報告及び研究部活動
報告

② 2008年度 協会関係会務報告

③ 2008年度 協会関連報告

(2)協議事項

① 2008年度 東地区部会決算報告及び監査結果

② 2008年度 東地区部会研究部決算報告及び監査
結果

③ 2009年度 東地区部会事業計画（案）及び研究

部活動計画（案）

- ④ 2009年度 東地区部会予算（案）及び研究部予算（案）
- (3)承合事項
- (4)懇談事項
- (5)その他

館長会

日 時：2009年6月12日（金）

会 場：獨協大学 中央棟3階 大会議室

議 題：「大学図書館間の協力関係について」

○2009年度東地区部会研究講演会

日 時：2009年6月12日（金）

場 所：獨協大学 天野貞祐記念館 大講堂

講 演：図書館の評価について—図書館における新たな指標LibQUAL+®の概要とその実例—

(1) 「LibQUAL+®の意義と活用」

東北学院大学文学部 教授 佐藤 義則 氏

(2) 「LibQUAL+®の実践報告」

慶應義塾大学理工学メディアセンター事務長

市古 みどり 氏

東北地区大学図書館協議会研修部会報告

{委員 21年9月1日現在} * 主査

永井 伸（東北大学）

飯沼 邦恵（秋田大学）

岩倉 琴重（岩手県立大学）

小松 良重（八戸大学・八戸短期大学）*

大坂田茂子（宮城学院女子大学）

『部会開催』

月 日	摘 要
平成 20 年 12月 12 日	議 題 1. 主査選出について 2. 合同研修会と業務別研修について 3. フレッシュパーソンセミナーの開催について 4. 各議論のまとめ 5. その他
平成 21 年 6月 9 日	議 題 1. 平成 20 年度合同研修会について 2. フレッシュパーソンセミナーの開催について 3. 今後の作業について 4. その他

東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会報告

{部会委員 21年9月1日現在} * 印はウェブ管理者

堀野 正太（東北大学）*

佐藤 亜紀（山形大学）

西戸 雅博（福島県立医科大学）

須田 充彦（東北学院大学）

稻妻 晶子（東北福祉大学）

月 日	摘 要
平成 21 年 3月 12 日	議 題 1. 運用部会の進め方について 2. サイトコンテンツについて 3. サイト維持管理について 4. その他

5. 平成21年度事業計画（案）

1 第64回総会の開催

平成21年9月17日（木） 仙台白百合女子大学を当
番館に実施

2 会誌の刊行

第61号 平成22年5月の予定

3 職員の表彰

① 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等に
優れた業績のあった者

② 協議会の運営、発展のために功績のあった者

4 研修会の開催（国・公・私立大学合同）

開催当番 岩手地区の予定

5 記念事業基金の造成

平成21年度通常会計から記念事業基金(96,000円)
の繰り入れ予定

協議題（総会）

8. 平成21年度合同研修会について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

岩手地区が当番予定地区になっているので、確認願いたい。

東北地区大学図書館協議会合同研修会開催地区

(平成12年9月20日承認)

年度	当番地区	会場大学	備考
13	宮城	東北大學	
14	青森	弘前大學	
15	岩手	岩手大學	
16	秋田	国際教養大學	
17	山形	東北芸術工科大學	
18	福島	会津大學	
19	宮城	宮城教育大學	
20	青森	八戸大学・八戸短期大学	
21	岩手		
22	秋田		

注：会場大学については、当該開催地区において協議するものとする。

9. 平成21年度東北地区大学図書館協議会フレッシュ・パーソン・セミナーの開催について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

東北地区的大学等の図書館職員として採用された職員が、最初に受ける地区全体の研修として位置づけ、所属機関を問わず必要とされる図書館職員としての基本的な知識を身につけると同時に、地区内の職員との交流の機会を設け、人的ネットワークの形成を促すことを目的とする。平成17年度に1回目、平成19年度に2回目のセミナーを開催しており、今回が3回目の開催となる。

10. 第65回総会の当番地区(館)について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

1) 秋田地区（国際教養大学）が当番となっているので、確認願いたい。

東北地区大学図書館協議会総会当番地区（館）予定
(平成21年9月17日承認)

回	年度	当番地区	会場大学	備考
64	21	宮城	仙台白百合女子大学	
65	22	秋田	国際教養大学	
66	23	山形		
67	24	宮城		
68	25	青森		

回	年度	当番地区	会場大学	備考
69	26	岩手		
70	27	宮城		
71	28	福島		
72	29	秋田		
73	30	宮城		
74	31	山形		

第65回から74回までの開催当番地区を確認願いたい。

注：会場大学については、当該地区において協議のうえ、開催予定の前年度総会に報告するものとする。

2) 開催地区のローテーションの確認について

- ① 宮城地区は、他地区より大学の数も多いので3年に1回割り振る。
- ② その他の地区は、次のローテーションによる。
青森地区、岩手地区、福島地区、秋田地区、山形地区

11. 役員館の改選について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

常任幹事館、幹事館、会計監査館及び論文審査館の任期(2年)満了に伴い、東北地区大学図書館協議会会則第6条及び第7条並びに東北地区大学図書館協議会表彰規程取扱要項第9項の規定に基づき各役員館の改選をお願いしたい。

- ① 幹事館は、国立2館、公立1館、私立2館の計5館で、そのうち1館が常任幹事館となります。
また、幹事館となった館は、論文審査館を兼ねることとなります。
 - ② 会計監査館は、公立1館、私立1館で、常任幹事館が決定した後、その館との地理的状況を勘案いただきたい。
 - ③ 常任幹事館については、総会の場において決定し、その他の役員館については各部会で選任する。
- ※ なおいずれについても重任することも可能となっています。

承合事項（部会）【別添配付資料参照】

(宮城大学総合情報センター)

案件	研究費で購入した学術雑誌の蔵書登録について
提 案 理 由	当館では今年度から、教員が研究費で購入した図書・学術雑誌を図書館の蔵書として登録することになりましたが、学術雑誌の定義付けに苦慮しております。教員からも、どの雑誌を図書館に持ち込めばよいか、明確な指針を出して欲しいという要望も来ております。 当館と同じように教員が研究費で購入した学術雑誌を蔵書として登録されている館がございましたら、どのような基準をもって学術雑誌と判断されているかご教示いただきたく存じます。(なお、年会費を納めた会員に送られてくる学協会誌については、当館の場合、蔵書登録の対象外としております。)

回答大学名

下記の質問に回答願います。

1. 教員が研究費で購入した雑誌を図書館の蔵書として登録していますか？
 - はい (2. にお進み下さい)
 - いいえ (ここで終了です)

1. で「はい」とお答えされた館にお伺いします。
2. 登録する雑誌の基準を設けていますか？
 - 学術雑誌と一般誌（雑誌すべて）
 - 学術雑誌のみ
 - その他の基準
()

2. で「学術雑誌のみ」とお答えされた館にお伺いします。
3. 学術雑誌と一般雑誌との区別はどのようにされていますか？
4. 所蔵登録する雑誌の基準を具体的に教えてください。
例) 図書館で購入している雑誌は受入しない 等

協議題（国立・公立・私立部会）

1. 平成21年度東北地区大学図書館協議会フレッシュ・パーソン・セミナーの開催について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席で提案理由説明)

2. 役員館の改選について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席で提案理由説明)

協議題（国立大学部会）

1. 国立大学図書館協会からの地区助成金に基づく事業等について

(東北大学附属図書館)

(提案理由)

第56回国立大学図書館協会総会において、2か年に渡り地区へ助成金の援助を行うことが決定された。
これについて、地区としてどのような企画を行うのか、意見を伺い、実行に移したい。

国立大学部会

承認事項（部会）【別添配付資料参照】

(福島大学附属図書館)

○東北各県における国公私立大学間（公立図書館を含む）での図書館連携について
(提案理由)

大学図書館間の連携は、全国的な組織が中心となつた相互協力体制が整っており、日常的に活用されている。しかし、県単位で見た場合、協議体としての組織はあるものの、図書館連携の具体的な活動状況がつかめておりません。

については、今後の図書館サービス向上のための参考とするため、東北各県で行われている図書館連携の名称や参加状況、活動状況をご教示いただきたい。

回答大学名

図書館連携の名称				
幹事館名				
図書館連携参加館数	国立大学・短大 () 館	公立大学・短大 () 館	私立大学・短大 () 館	高等専門学校 () 館
	公共図書館 () 館	その他 () 館	計 () 館	
主な活動状況 (連携目的等)				
その他(特徴的な取組みなど)				

公立大学部会

承認事項（部会）【別添配付資料参照】

(宮城大学総合情報センター)

案 件	図書の購入について（教員による書店店頭選書）
提 案 理 由	当館では、年に3回、教員による図書の選定を行っておりますが、店頭で選書をしてみたい、という要望が教員からあつたため、第2回目を秋頃に実施したいと思っておりますので、参考にさせていただきたいたい。

回答大学名

下記の質間に回答願います。

1. これまでに教員による書店店頭選書を行ったことはございますか？
 - はい
 - いいえ (ここで終了です)

1. で「はい」とお答えされた館にお伺いします。
2. 実施したのは何店舗で行いましたか？
 - 1店舗のみ
 - 時期をずらして1店舗ずつ 計 () 回
 - 同時期に () 店舗

3. 店頭選書の参加対象教員は
 - 全教員
 - 各キャンパスの代表者

- 各学部の代表者
- 各学科の代表者
- その他 ()

4. 1回の店頭選書はどのくらいの期間を設けて実施しましたか？

- 1日
- 2週間
- 1ヶ月
- その他 ()

5. 選書から納品までの流れを教えてください。

- 例) 教員が書店で選書→選書期間が終了
→選書した図書リストの作成（書店側）
→図書館にリストが届く
→自館の蔵書との重複チェック→発注→納品

6. 書店店頭選書を行うにあたっての問題点等ございましたら、下記にご記入ください。

私立大学部会

話題提供（部会）

（日本大学工学部図書館）

○所蔵資料の複写について

(提案理由)

所蔵資料を複写する場合には、著作権法が適用され、
資料別（単行書・新聞雑誌・短編・論文集・地図等その他の）によって複写可能な範囲が異なっている。

これに伴い「大学図書館における文献複写に関する実務要項」に基づき「文献複写申込書」及び掲示等で利用者へは周知しているが、全て把握することは難しく、何か良い方法があれば参考したいので、ご教示いただきたい。

第64回東北地区大学図書館協議会総会議事要録

開会のあいさつ

仙台白百合女子大学図書館 館長 大本 泉

こんにちは。ただいまご紹介にあずかり、第64回東北地区大学図書館協議会総会の当番校をおおせつかいました仙台白百合女子大学図書館館長の大本と申します。当番校の代表として開会の挨拶をさせていただきます。

さて、東北地区大学図書館協議会も今年で64回を迎え、しかも加盟館も64館になったとのことでございます。まさに戦後民主主義の時代とともに歩んできた歴史のある会であるということを改めて感じている次第です。

仙台白百合女子大学は、一前身の短期大学は1966年に開設されたのですが、4年制として開設されてまだ13年目でございます。このように人間で申しますと赤ん坊のような大学が当番校としておおせつかいましたことを光栄に存じますとともに、また、この協議会をとおしてこれからもたくさんのこと教えていただけるものと感謝申し上げております。

昨日新内閣が誕生しましたが、戦後、大学図書館も時代の変遷に伴う進化をし続けてきました。21世紀になり、知識・情報の改革の時代と言われるようになったわけですが、大学図書館はいわば大学の顔として、内外にその知識・情報を蓄積、開示、発信という、そういう役割を担わされていると存じます。しかも現実的には、限られた財政や人や時間の中で変革をしていかなければならぬという非常に困難な状況にあると思われます。このような問題は、形態は様々とはいえ、どの大学図書館も抱えているのではないでしょうか。

普段、図書館間でメールのやりとりをしているのですけれども、この協議会で、実際に、生の声で意見を交換ができるということはとても意義深いことだと思います。総会、各国立・公立・私立部会の会議で活発に意見をお出しくださいまして、そこで得られましたものをぜひ各大学図書館に役立てていただきたいと願っております。

本総会を開催するにあたり、常任幹事館である東北大附属図書館の野家館長をはじめとして図書館の皆さん、国公私立図書館幹事館の皆さん、昨年の当番校であったいわき明星大学の図書館の皆さん、また宮城県内の大学図書館の方々にもご協力いただき、お世話になりました。感謝申し上げております。そして本学が仙台駅から離れているものですから、今日はここを会場とさせていただきましたが、それでも遠路はるばるおこしくださいました皆様にも厚く御礼申し上げます。不手際があるかとは存じますが、本日もどうぞご指導賜りたくよろしくお願

いいたします。

以上をもちまして、簡単ではありますが、開会の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

歓迎のことば

仙台白百合女子大学 学長 和田 美稚子

皆様こんにちは。ようこそ仙台にお越しくださいました。

私ども仙台白百合女子大学の設立母体は、シャルトル聖パウロ修道女会と申しまして、フランス系のカトリック修道女会でございます。今から約130年前に、フランス人の宣教女3名が北海道の函館に着き、そこで福祉と教育の仕事を始めました。

仙台に参りましたのは、1893年のことで、最初は私立仙台女学校と言う名称で認可され、仙台における教育の仕事が始まりました。その女学校が70数年歩みを続ける中で、生徒たち、卒業生、そして生徒の保護者たちから、せめて短大まで創ってほしいという希望が出てまいりました。そこで、1966年に家政科のみの短期大学を、現在大学があります泉区の地に開設いたしました。その頃の泉区は、ご承知の方も多いと思いますが、一面見渡す限り田んぼと畑でございました。その後、急速に国際化が進む中で、時代の要請に応えて1987年に英語科を増設し、入学定員は家政科と英語科を合わせても230名という小さな女子のみの短期大学として歩みを続けてまいりました。

私どもは学校法人白百合学園として、幼・小・中・高・大学という一貫教育を行っておりますが、次第に学園内の高校生が四年制大学志向になってまいりました。それで1996年に人間学部一学部の四年制大学を新設いたしました。つまり、本学はまだ開設後13年しか経っていない若い大学。在学生は1300名という小さな大学です。

大学において図書館というのは心臓部のような大事なところでございますので、皆様方が従事していらっしゃる図書館業務という仕事は、大学の心臓部として、この高等教育の場を、底から支えている大切な仕事と言えると思います。

私どもは小さな大学、未熟な大学でございますので、これからもいろいろお教え頂かなければならないと思います。今日のこの図書館協議会総会を機に、また新しいことを学ばせて頂いて、歩んで行きたいと考えておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、当番校としてご挨拶をさせて頂きました。有り難うございました。

幹事館あいさつ

東北大学附属図書館 館長 野 家 啓 一

ただいまご紹介いただきました東北大学附属図書館館長の野家でございます。常任幹事館としてひとことご挨拶を申しあげます。第64回東北地区大学図書館協議会総会に遠路またお忙しい中をお集まりいただきまして、まことにありがとうございました。とりわけ準備万端整えていただきました、会場校である仙台白百合女子大学の和田学長先生、図書館の大本先生はじめスタッフのみなさま方に厚く御礼申し上げます。

今回は第64回ということで、お手元の会誌も60号を数えることになりました。60号を記念して、寄稿を求められましたので、これまでのバックナンバーをめくっておりましたら、ここ20年くらいでしょうか、会誌の中にも「情報」ということばが非常に多く使われるようになっています。つまり、大学図書館というのは学術情報の拠点であるとか、あるいは電子情報、書誌情報、情報検索、情報発信という言葉が日常的にも盛んに使われています。現在では紙媒体と電子媒体、つまり活字情報と電子情報を統合するハイブリッドライブラリーということが言われ、またそれを目指して、われわれ図書館関係者もさまざまな努力を続けているわけです。

最近ですが、ある方から「情報」と「知識」の違いはどこにあるのだと聞かれまして、思わず答えにつまつたことがあります。答えにつまつたせいではありませんが、実は、昨日から私どもの大学院の入試が始まりまして、私の専門は哲学ですので、その課題に「知識と情報の違いを論ぜよ」という問題を出しました。少しでも答えを模索する手がかりを得たいと思ったわけですが、試験も終わっているので問題漏洩にはならないでしょう。そこで私なりに考えてみると、情報は流通し消費されるものであるのに対して、知識というのは蓄積され継承されるものといった違いがあるのではないかと思います。

情報という言葉は「遺伝情報」とか「入試情報」とか、あるいは「競馬情報」や「株式情報」などいろいろと使われていますが、遺伝情報の場合には、DNAの中に書き込まれていてタンパク質を作るきっかけになるわけです。タンパク質が生成されればその情報の役割は終わるわけですが、競馬の情報も当日のレースが終われば馬券を買う役には立ちません。ですから、情報はある特定の目的のために短期的に必要されるものであるのに対して、知識というのは、たとえば遺伝学の知識や経済学の知識のように、単に消費されるものではなくて次の時代に伝えいかれるものだと言えます。あるいは競馬の情報ではなく競馬の知識といった場合には、競馬の歴史的起源だ

とか、サラブレッドとアラブ種の違いとか、これも単に消費され、忘れ去られていくのではなくて、蓄積されて次の世代に手渡されていくものです。ですから図書館の役割というのは、その場その場で消費される一過性の情報を扱うのではなくて、溢れている情報の中から知識として次の世代に手渡すべきものをきちんと洗い出して、それを整理し継承していくという役目があるのでないかと思います。

情報化やIT化は時代の流れでこれはやむを得ないことですし、図書館もその波をもろにかぶっているわけですから、もし情報検索が目的であれば、グーグルさえあれば図書館はいらないということにもなりかねません。現在、グーグルではアメリカの図書館の本をすべて電子化するという計画を進めているわけですが、グーグルにはない図書館にだけあるものをわれわれ図書館関係者は探していくかなくてはならないのではないかと思っています。情報化の流れの中で図書館は今さまざまにに変化を続いているところですが、情報ではない知識の蓄積と継承という原点をもう一度見直しながら、われわれ大学図書館の未来像を描いていくことができればと考えております。

本日の協議会総会は、国立・公立・私立という、普段顔を合わせることのない大学図書館のスタッフたちがface to faceで情報を交換し、これからの方針を見定めるというまたとない機会ですので、それぞれの図書館の抱えている問題点はさまざまであろうとは思いますが、ぜひ十分に討議を重ねられて、またそれを持ち帰って明日から新たな図書館づくりを目指して進むきっかけにしていただければと思っております。

簡単ですが、幹事館からの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

議長団選出

議長団選出は、慣例により総会当番地区より選出することになっており、今回は宮城地区となっているため、国立大学は宮城教育大学附属図書館の萬館長、公立大学は宮城大学総合情報センターの上島副センター長、私立大学は当番大学仙台白百合女子大学図書館の大本館長をそれぞれ選出した後、各議長から挨拶がおこなわれた。

総 会

2 協議事項

通常であれば、報告事項から順に議事進行となるが、今回は協議事項1の「新規加盟館について」の協議事項を最初に行うとの説明が議長からなされた。

① 新規加盟館について

(東北大学 高橋総務課課長補佐)

総会資料（以下「資料」という。）1頁～4-2頁に基づき、新規加盟について説明がなされた。仙台青葉学院短期大学は7月21日付、東北生活文化大学・同短期大学部は7月27日付、青森中央学院大学・同短期大学は9月11日付で新規加盟の申し出があった。総会前に行われた幹事会において既に承認済なので追認をお願いしたい。

以上の説明の後、申請どおり満場一致で加盟が承認され、各大学関係者から挨拶があった。

新加盟館挨拶

(仙台青葉学院短期大学図書館 中嶋隆三館長)

「仙台青葉学院短期大学」の館長をやっております、中嶋ともうします。こちら、司書の渡邊ともうします。今後ともよろしくお願ひいたします。

本学、今年の四月に開学したばかりであります、短大の名前も「あおば」と書きまして「せいよう」と読みます。生まれたての短大ですので、これから色々みなさんにお世話になると思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(東北生活文化大学・同短期大学部附属図書館

近江恵美子館長)

こんにちは。ご承認いただきまして、まことにありがとうございます。東北生活文化大学・同短期大学部館長の近江でございます。司書の村山とともに2名で出席させていただいております。

当三島学園はまもなく110年を向かえる長い伝統のある学校でございますが、短期大学のほうが先に設立されておりまして、後から大学が設立されております。また、小規模の大学ですので、従来今まで短期大学の方の東北地区協議会には加盟しておりましたが、大学には加盟しておりませんでした。ただ、時代の要請等がありまして、さきほどの情報と知識のお話ではないですが、知識も含めさまざまな情報を得る場として、大学の協議会にも加盟すべきであるという判断をいたしまして、今回申請をさせていただいたということです。いろいろと勉強させていただきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

(青森中央学院大学・同短期大学図書館

情報センター 葛西崇文リーダー)

ただいまご承認いただきました、青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館情報センターから参りました、葛西ともうします。ご承認いただきまして、誠にありがとうございます。

ご承認に先立ちまして、本館の加盟申請が急だったもので、当番館の仙台白百合女子大学図書館のみなさま、東北大学図書館のみなさまに大変ご迷惑をおかけしたのではないかと思います。この場を借りてお詫びいたします。

本館、設置しております学園はそれなりに歴史がございまして、古くから大学等運営しておりますが、図書館情報センターのスタッフに関しましては平均年齢30歳といつておりません。若いスタッフで構成しております。ですので、協議会等に積極的に参加し、たくさん勉強させていただいて、図書館をよりよくしていきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

1 報告事項

① 平成20年度会務報告について

(東北大学 加藤総務課長)

総会資料（以下「資料」という。）5頁と6頁に基づき、第63回総会以降の会務について次のとおり報告がなされた。

1) 平成20年度末の加盟館数について、加盟館数に変更はなく、国立15、公立12、私立34の計61館である。（2009年8月31日現在）

2) 平成20年度東北地区大学図書館協議会合同研修会実施状況について

平成20年度合同研修会は平成21年6月26日（金）に八戸大学・八戸短期大学を会場として次のとおり開催された。

[基調講演]

「図書館員のスキルアップを図るために
—司書の専門性から図書館員のSDとFDを考える—」

講師 小松良重

(八戸大学・八戸短期大学図書館)

[テーマ別情報交換会]

① 図書館の利用者教育について

② 資料収集（図書選定）および保存・管理について

③ 図書館の広報活動について

④ 大学図書館の新たなサービスの導入・展開について

参加者：国・公・私立各加盟 25館から35名

3) 会誌の発行

東北地区大学図書館協議会誌第60号（記念特集号）は、平成21年6月に450部発行し、加盟61館及び関係機関等へ配布済みである。記念特集号の内容は次のとおりである。

- ・本誌60号の歩みと今後への期待……東北大学附属図書館長 常任幹事館館長 野家啓一
- ・平成の大学図書館…富士大学学生支援部部長代理（前図書課長）井手俊一

①東北地区大学図書館協議会総会議題一覧
(第54回総会～第63回総会)

②東北地区大学図書館協議会略年譜
(平成11年4月～平成20年9月)

③東北地区大学図書館協議会誌総目次
(第51号～59号)

④各加盟館紹介

4) 幹事会について

幹事会は2回開催された。

第1回：平成21年7月24日（金）：第64回総会及び部会議題等について 会場…東北大学

第2回：平成21年9月17日（木）：第64回総会及び各部会の運営について 会場…戦災復興記念館

5) 記念事業基金の造成について

従来と同様に会費収入の10%を上限とし、平成20年度通常会計から記念事業基金として91,500円を繰り入れた。

6) 平成20年度会計監査について

9月7日、東北大学附属図書館において、会計監査館 青森県立保健大学及び東北学院大学中央図書館による会計監査を受けた。

② 平成20年度一般報告及び各部会報告について

議長から、平成20年度一般報告は国立・公立・私立大学共通事項であること、これについては事前に各加盟館に総会前にメール等で送付しているので、資料7頁～9頁を参照することで報告は省略するとの説明があった。

【部会報告】

■国立部会報告

国立部会報告は資料10頁～12頁を参照することで報告は省略され、幹事館の東北大学（加藤総務課長）秋田大学（碇子課長）に特にけくわえることがあるかどうか確認をとった結果ないということであった。

■公立部会報告

公立部会報告は資料13頁～15頁を参照することで

報告は省略され、幹事館の岩手県立大学（高橋室長）に特にけくわえることがあるかどうか確認をとった結果ないということであった。

■私立部会報告

私立部会報告は資料16頁～19頁を参照することで報告は省略され、幹事館の東北福祉大学（石田次長）郡山女子大学（和知係長）に特にけくわえることがあるかどうか確認をとった結果ないということであった。

③ 研修部会からの報告について

（研修部会主査 八戸大学・八戸短期大学図書館 小松良重事務室長）

資料20頁「東北地区大学図書館協議会研修部会報告」に基づき説明がなされた。具体的な内容についても、協議事項・報告事項資料集10頁～20頁を参照することで報告は省略された。

④ ウェブサイト運用部会からの報告について

（東北大学 高橋総務課課長補佐）

資料21頁「東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会報告」に基づき説明がなされた。詳細は協議事項・報告事項資料集21頁～31頁を参照することで報告は省略された。協議事項・報告事項資料集の24頁がトップページとなっており、東北大学附属図書館のウェブサイトに掲載されているので、各自ご確認いただきたいとの補足説明がなされた。

⑤ その他

議長から、報告事項は以上であるが、他に報告するものがないか確認したが、特になかったため、報告事項を終了した。

2 協議事項

② 平成20年度決算報告書（案）について

（東北大学 高橋総務課課長補佐）

資料22頁「平成20年度決算書（案）」に基づき収入及び支出の報告がなされた。

③ 平成20年度記念事業基金決算報告書（案）について

資料23頁「平成20年度記念事業基金決算書（案）」に基づき報告がなされた。

次回の記念事業は、第70回総会で平成27年ころになり、その2年前から記念事業の実行委員会を立ちあげ、内容を検討した上で記念事業を行うこととなる旨補足説明がなされた。

④ 平成20年度会計監査報告

（青森県立保健大学附属図書館 小野由美主査）

平成21年9月7日に東北大学附属図書館において会

計監査館の青森県立保健大学附属図書館職員1名及び東北学院大学図書館職員2名で関係帳簿帳票書類を精査した。精査の結果、平成20年度決算書及び記念事業基金決算書について正確である旨の報告がなされた。

⑤ 平成21年度事業計画（案）について

（東北大學 加藤総務課長）

資料24頁「平成21年度事業計画（案）」に基づき以下5項目について説明がなされた。

1) 第64回総会の開催について

平成21年9月17日、仙台白百合女子大学を当番館に実施。

2) 会誌の刊行について

東北地区大学図書館協議会誌第61号は平成22年5月の刊行予定である。

3) 職員の表彰について

- ① 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等に優れた業績のあった者
- ② 協議会の運営、発展のために功績のあった者いずれかについて該当の方をご推薦いただき表彰することになる。

なお、20年度については、各加盟館に照会したが、推薦がなかった旨補足説明があった。

4) 研修会の開催（国・公・私立大学合同）

開催当番地区は岩手地区の予定である。

5) 記念事業基金の造成

平成21年度通常会計から記念事業基金94,500円を繰り入れ予定としたが、加盟館63館として計算していたので、64館として96,000円に訂正願いたい。平成20年度からの大きな変更は特にないとの説明があり、訂正も含めこの事業計画案は承認された。

⑥ 平成21年度予算書（案）について

⑦ 平成21年度記念事業基金予算書（案）について

（東北大學 高橋総務課長補佐）

資料25頁「平成21年度予算書（案）」及び「平成21年度記念事業基金予算書（案）」に基づき昨年度からの変更点、特に予算が増減した項目の説明がなされた。

平成21年度予算額の支出について、前協議項目⑤平成21年度事業計画（案）の事業計画繰入金の訂正と合わせて、積立繰入金が94,500円から96,000円に、予備費が111,564円から110,064円に、予備費増減が112,916円と訂正していただきたいとの説明があり、訂正も含めて承認された。これらの訂正個所を改め

た上で平成21年度予算書を再送付することになった。

⑧ 平成21年度合同研修会について

（東北大學 高橋総務課長補佐）

資料26頁「平成21年度合同研修会について」に基づき、次回研修会開催当番予定地区が岩手地区であることを確認した。会場大学については、当該開催予定地区において協議し、決定したら常任幹事館である東北大學へ報告願いたい旨、依頼がなされた。

⑨ フレッシュ・パーソンセミナーの開催について

（東北大學 高橋総務課長補佐）

資料27頁「平成21年度東北地区大学図書館協議会フレッシュ・パーソンセミナーの開催について」に基づき、提案理由の説明がなされた。フレッシュ・パーソンセミナーについては、協議事項・報告事項資料1頁～5頁を参考に審議していただきたい旨依頼があり、各部会で協議した後、全体会議にて報告願うこととした。

⑩ 第65回総会の当番地区（館）について

（東北大學 高橋総務課長補佐）

資料28頁「第65回総会の当番地区（館）について」に基づき第65回は、当番地区である秋田地区の国際教養大学で開催されることが確認された。第66回総会は、当番地区である山形地区の加盟館で協議したうえで、来年の第65回総会において当番館を報告願いたい旨依頼がなされた。

（東北大學 加藤総務課長）

何年かに一度、当番地区的確認をしており、前回は平成14年度第57回総会時に57回～64回（平成21年度）までの確認が行われた。資料53頁「協議会総会当番地区・当番大学」の一覧表を参考に第65回から74回までの確認していただきたいとの提案があった。

資料28頁の各年度の当番地区が議長によって読みあげられ、開催地区の確認がなされた。

⑪ 役員館の改選について

（東北大學 高橋総務課長補佐）

資料29頁「役員館の改選について」に基づき説明がなされた。常任幹事館は東北大學を推薦したいとの意見があり、拍手によって満場一致で承認された。

なお、部会においては協議事項・報告事項資料9頁の「役員館一覧」を参考にしたうえで、審議・選出してほしい旨依頼があり、各部会で協議した後、全体会議にて報告を行うこととした。

⑫ その他

議長から、他に協議するものがないか確認があつたが、特になかったため、協議事項を終了した。

3 承認事項

研究費で購入した学術雑誌の蔵書登録について

資料30頁「承認事項（総会）」の提案理由のとおりであり、各大学からの回答は、別冊にまとめてあるのでお目通しいただきたい旨発言があった。次に議長から宮城大学に発言を求め、総合情報センター安部総務企画グループリーダーから、回答に対する謝辞が述べられた。

全体会議・各部会からの報告

■国立部会

国立部会：秋田大学 硫子図書館・情報推進課長

- ① フレッシュ・パーソンセミナーについて
 - 1) セミナー開催について了承が得られた。
 - 2) 開催に当たっては、研修部会と調整し、カリキュラムや開始時間等十分検討してほしいとの意見が出された。
- ② 役員館の選出
国立部会から、福島大学を幹事館として選出することとした。

■公立部会

公立部会：岩手県立大学 高橋教育・学生支援室長

- ① フレッシュ・パーソンセミナーについて
 - 1) セミナー開催について了承が得られた。
 - 2) 国際教養大学より、開催時期について11月20日以前の11月13日が望ましいとの要望があった。
 - 3) 参加対象者に関して、2年未満にこだわらず、必要な職員を参加させたいとの意見が出された。
 - 4) 情報交換ということも考え、当日午後から次の日の午前中という日程でもよいのではないかといった意見や、逆に、宿泊までは難しいといった意見が出された。
 - 5) カリキュラムについては、大学職員のもつべき心構えを組み込んでほしいとの意見が出された。
- ② 役員館の選出
公立部会から青森県立保健大学を幹事館として選出することとした。

なお、会計監査官については、福島地区の大学にお願いすることとしたが、具体的にどこの大学になるか結論は出なかった。今後、関係大学で協議の上、決定次第常任理事館である東北大へ報告することとした。

■私立部会

私立部会：東北福祉大学 本間課長

- ① フレッシュ・パーソンセミナーについて
 - 1) セミナー開催について了承が得られた。
 - 2) 遠方から来る方には10時30分開始では間に合わないので、開始時刻について考慮願いたいとの意見があった。
 - 3) 専任のみか、派遣・パート・アルバイトを含むのかとの疑問が出たが、各大学の事情に合わせて選出してかまわないのではないかとの合意にいたった。
 - 4) 初任者だけではなく、中堅職員の場も設けてほしいとの意見が出たが、合同研修会がその位置づけになっているとの研修部会から回答があった。
 - 5) 初任者対象ということで、基本的な内容はあまり変わらないことで、そのままの内容で承認された。
- ② 役員館の選出
私立部会から幹事館として仙台大学及び盛岡大学を選出することとした。
また、会計監査館として石巻専修大学を選出することとした。

○ その他

- ① 役員館の改選について（各部会等からの報告）
常任幹事館 東北大
幹事館 (国立) 東北大・福島大学
(公立) 青森県立保健大学
(私立) 仙台大学・盛岡大学
会計監査館 (公立) 福島地区大学加盟館から1館
(私立) 石巻専修大学
常任幹事館から、幹事館は論文審査館も兼ねることとなる旨補足説明があった。
- ② フレッシュ・パーソンセミナー開催について
参加者の範囲やカリキュラムの話題について事務局から、以下の補足説明があった。
参加者については原則2年未満としていますが、これにかかわらず、各大学で希望があれば、推薦していただいて結構です。講師については、東北地区大学図書館協議会の企画行事として今後やっていきたいと考えております。東北大を会場といたしますと、これまで、東北大・宮城教育大学・東北福祉大学・東北学院大学から講師をお願いしておりました。今後、場合によっては、それ以外の大学に講師をお願いすることもあるかと思います。さきほど21年度予算案について事業費には組み込まれていませ

んでしたが、もし仙台地区外から呼ぶことを認めていただければ、その中から講師費用を出費してやつていきたいと考えます。また、カリキュラム全般について、研修部会の小松主査、幹事館及び研修部会と相談してより参加しやすいフレッシュ・パーソンセミナーにしたいと思っております。

③ 質疑応答

質問

協議事項・報告事項資料集2頁フレッシュ・パーソンセミナー開催要項案6番の実施経費として、「参加者の旅費等は、各大学法人等の負担とする」とあるが、具体的にわかつていればご紹介いただけとありがたい。

回答 常任理事館 東北大学 高橋総務課課長補佐
例えれば、弘前大学の方が出席する場合、弘前大学で出張旅費を負担するということで理解いただきたい。この表現は紛らわしいので、検討させていただきたい。

④ その他

議長から、協議会全般について参加者に質問等を求めたがなかったので、各部会において協議事項以外で話題となったことを報告願いたい旨発言があり、以下のとおり報告があった。

国立部会：秋田大学 碇子図書館・情報推進課長
・国立大学図書館協議会の地区助成金についての話が出された。

公立部会：岩手県立大学 高橋教育・学生支援課長
・それぞれの館の抱えている状況・事情の意見交換を行った。

私立部会：東北福祉大学 本間課長
・高校生向けのサービスについて話題提供があり、高校から図書館への研修の要請があり、受け入れたという報告があった。また各大学に中学生を含めて受け入れているか、という質問には、中学受入4大学・小学受入1大学という結果であった。

・所蔵資料の複写についての話題が出された。
法令順守の大学の立場と学生の現状、具体的な対策というよりは図書館職員の心の問題はどう扱うかという提案理由の追加があった。

申込用紙を書かせて職員がコピーしている大学、カウンター付近にコピー機を設置し、申込書を事前に提出させている大学などが紹介された。

次期当番校挨拶

国際教養大学 勝又美智雄館長

館長をしております、勝又です。来年、本学でこの総会を開くということで、皆さまを心より歓迎いたします。

もうご存知だと思いますが、2004年平成16年にオープンしたばかりです。翌年にはすぐに私が手を挙げまして、この東北地区大学図書館協議会の合同研修会を本学で行いました。当番館も秋田が次に来るという時に、手を挙げて、うちでやりますよということも言いましたので、この協議会の活動にものすごく積極的に貢献しているのではないかというふうに思っております。

幸い、時間があるので、挨拶するのに30分十分もらえるのではないかと思って喜んでおりますが、もう少し短くしますが、本学の特徴をいいますと、大学の中に空港があります。秋田空港から車で5分くらいです。ですから、東北地区の方はほとんど「こまち」でいらっしゃるでしょうが、日本中どこからでも秋田空港に来ればそこから5分で本学に着くということで、だいたい毎週2-3組、多いときには5組ぐらい、全国から観察にいろいろな方がきます。国の省庁の人間から、政治家から県庁県議会。本学はもともと県が金を出すけれど、県立大学ではない。日本で最初の公立大学法人ということで、限りなく私立に近い形をとってスタートさせました。その理由は、県立大学だとわたしたちの求める改革ができないという思いからです。

観察にくる皆さんのがんの目的は図書館です。うちの図書館、今まででは学生会館として使っている小さな建物だったのですが、去年全面的に新しいものができました。これは、秋田杉を使って、木造で3階建て、実質2階建ての、吹き抜けの非常におもしろいデザインです。日本建築学会会長をなさっていた仙田満先生の事務所が設計してくれたものを競争コンペで決めたのですが、図書館を見に来るだけで秋田の新しい名所になっておりますので、ぜひ楽しみにしてごらんになってください。秋田杉をふんだんに使いまして、半円形で、非常にゆったりとしている。建物自体が日本の中でも珍しいデザインですが、実は運営自体がまったく新しい、日本の他ではまったくやっていないと思いますけれども24時間完璧にオープンしています。

24時間オープンで、1年365日まったく休みなし。ただし、一般の人は朝の10時から夜の10時まで、これも大晦日も元旦も開いております。ですから、国家試験を受ける人や、主婦、サラリーマンが本学へわざわざ、「ほかの公立の図書館は休みだけれども、ここだったら開いているからきました」という、そういう方も使っております。

24時間オーブンしている理由は、本学は「何事も学生のために」をモットーにしていて、その学生が一番使いやすいようにしたいという思いから、そういうポリシーを最初から決めてやっております。そのかわり職員が大変ですけれども、最初の年は職員を24時間はりつけました。どういうふうに使われているか調べて、翌年から午前2時までおけばいいのだということで午前8時半から午前2時まで2年間やりまして、その2年間の実績をもとに、今は午前0時で大丈夫だろうということで、午前0時まで職員がいます。その理由は、本学は入ったら勉強しなくてはいけませんから、毎日のように宿題が大量出る。それをこなすために、オーディオビジュアルなどをショットちゅう時間貸しをして、1時間借りてすぐ聞いてまた返さなくてはならない。そういうのがいくつもありますので、図書館のカウンターが混むのが夜の10時11時頃です。そのころまでみな勉強しています。そういう大学ですので、その使われ方、職員がどういう形で苦労しているか。うちの職員はフルタイムの人が5人でやっていますが、2人は正職員、2人は嘱託、1人が完全なアルバイト、この方は夜専門という形ですが、まず、日本の他のどこにもない図書館と図書館運営をやっている、それをぜひゆっくりご覧になっていただきたいと思いますし、本学を会場にして東北地区のいろいろな大学の方がいらして、そして秋田にこういういいところがあるんだということをわかっていただければうれしいなと思います。

長くなりましたが、10分しゃべらせていただきました。ありがとうございます。歓迎しますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

終了にあたって

総会終了にあたり各議長から謝辞が述べられた。

閉会のあいさつ

当番館 仙台白百合女子大学図書館 大本館長

閉会のあいさつを述べさせていただきます。

当番校として皆様に深く感謝申しあげます。本日は長い時間にわたりまして、たくさん意見交換をしてくださり、まことにありがとうございました。そして、東北大学附属図書館をはじめ、幹事館の皆様にも大変お世話になりました。御礼申しあげます。

仙台白百合女子大学図書館は、特に私が責任を負うという立場になりましてから、いわば地雷を抱えつつ歩んできたようなところがございまして、大学基準協会という第三者評価の審査をうけながら、実は昨年は全国カトリック大学図書館協議会の当番校をこれまた引き受ける

という激動の時期を迎えたしました。例えば、これから本学の図書館をぜひ地域の人にも開放していきたいという望みがあるのですが、にもかかわらず、やはり小さい女子大学という性質から、危機管理体制をどうしていくのか、あるいは、本日協議事項の中にフレッシュ・パーソンセミナーはどうあるべきかという議題がございましたが、その問題以前に本学の館員をいかにそのようなセミナーに参加させてあげられるのかといった、そういう課題を抱えた状況でこの協議会総会に臨んだのであります。

このようなレベルの大学でございますが、それでも皆様方のご意見を拝聴できただけでも大変貴重な体験となりまして、意義深いひと時を得ることができたと思っております。みなさまはいかがでしたでしょうか。十把一絡げに東北地区の図書館というふうには括れません。それぞれの個性ある図書館が参考したということだと思うのですが、一館でも多くの図書館が、この協議会総会に参考してよかったですと思いつけて、本協議会での情報交換が、それぞれの思い描く新しい図書館を生成していく契機、きっかけとなりますことを願っております。

本日は本当にどうもありがとうございました。これからもご指導よろしくお願ひいたします。

第64回東北地区大学図書館協議会総会出席者名簿

(国 立)

No.	大 学 図 書 館 名	職 名	氏 名
1	弘 前 大 学 附 属 図 書 館	館 長	長 谷 川 成 一
2	弘 前 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 部 長	新 谷 哲 雄
3	弘 前 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 部 学 術 情 報 課 長	酒 井 量 基
4	岩 手 大 学 情 報 メ デ ィ ア セン ター 図 書 館	副 館 長	井 上 祥 史
5	岩 手 大 学 情 報 メ デ ィ ア セン ター 図 書 館	情 報 メ デ ィ ア 課 長	佐 藤 金 壽
6	東 北 大 学 附 属 図 書 館	館 長	野 家 啓 一
7	東 北 大 学 附 属 図 書 館	事 務 部 長	片 山 俊 治
8	東 北 大 学 附 属 図 書 館	総 務 課 長	加 藤 信 哉
9	東 北 大 学 附 属 図 書 館	情 報 管 理 課 長	横 山 敏 秋
10	東 北 大 学 附 属 図 書 館	情 報 サ ー ビ ス 課 長	小 陳 左 和 子
11	東 北 大 学 附 属 図 書 館	医 学 分 館 事 務 長	高 橋 信 野
12	宮 城 教 育 大 学 附 属 図 書 館	館 長	萬 伸 介
13	宮 城 教 育 大 学 附 属 図 書 館	図 書 情 報 管 理 専 門 職	中 村 浩 子
14	秋 田 大 学 附 属 図 書 館	館 長	大 好 直
15	秋 田 大 学 附 属 図 書 館	図 書 館 ・ 情 報 推 進 課 長	碇 子 洋 行
16	山 形 大 学 附 属 図 書 館 工 学 部 分 館 長	工 学 部 分 館 長	米 竹 孝 一 郎
17	山 形 大 学 附 属 図 書 館	企 画 部 図 書 情 報 企 画 ユ ニ ッ ツ チ ム リ ー ダ ー	津 田 ひ ろ 子
18	山 形 大 学 附 属 図 書 館	小 白 川 事 務 部 小 白 川 図 書 ユ ニ ッ ツ 長	細 谷 美 千 枝
19	福 島 大 学 附 属 図 書 館	館 長	星 野 琴 二
20	福 島 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 グ ル ー プ リ ー ダ ー	鈴 木 三 男

(公 立)

No.	大学図書館等名	職 名	氏 名
1	青森県立保健大学附属図書館	主 査	小野由美
2	岩手県立大学メディアセンター	メディアセンター長	幸丸政明
3	岩手県立大学メディアセンター	教育・学生支援室長	高橋一夫
4	岩手県立大学メディアセンター	主任図書事務員	岩倉琴重
5	宮城大学総合情報センター	副センター長	上島照幸
6	宮城大学総合情報センター	総務企画グループリーダー	安部正則
7	秋田県立大学図書・情報センター	マネージャー・チームリーダー	高橋茂則
8	秋田公立美術工芸短期大学附属図書館	館 長	松本研一
9	国際教養大学図書館	館 長	勝又美智雄
10	国際教養大学図書館	ライブラリーチーム・チームリーダー	勝浦栄子
11	山形県立保健医療大学附属図書館	館 長	内田勝雄
12	会津大学情報センター附属図書館	主幹兼事務長	松下進
13	会津大学情報センター附属図書館	副主任司書	佐々木倫子
14	会津大学短期大学部附属図書館	館 長	安江俊二
15	福島県立医科大学附属学術情報センター	主任司書	古川聖子

(私 立)

No.	大 学 図 書 館 名	職 名	氏 名
1	青森大学・青森短期大学附属図書館	館 長	菅 勝彦
2	八戸大学・八戸短期大学図書館	事務室長(司書)	小 松 良重
3	八戸工業大学図書館	主 事	藤 卷 利男
4	青森中央学院大学図書館	司 書	葛 西 崇文
5	岩手医科大学附属図書館	分 館 長	上 原 至雅
6	岩手医科大学附属図書館	矢巾キャンパス事務室 図 書 係 長	芳 賀 真理子
7	富士大学図書館	司 書	小 林 淑子
8	盛岡大学図書館	館 長	高 橋 幸雄
9	盛岡大学図書館	事務室長	八 木 融子
10	仙台大学附属図書館	教 授	小 松 恵一
11	仙台白百合女子大学図書館	館 長	大 本 泉
12	仙台白百合女子大学図書館	事 务 長	生 出 登
13	仙台白百合女子大学図書館	司 書	山 口 普子
14	石卷専修大学図書館	館 長	羽 田 紘一
15	石卷専修大学図書館	事務課長(図書担当)	佐 藤 彰桂
16	東北学院大学中央図書館	館 長	佐 藤 司郎
17	東北学院大学中央図書館	図書情報課長	三 浦 陸
18	東北学院大学中央図書館	図書情報課長補佐	早 坂 孝司
19	東北工业大学附属図書館	次 長	岩 瀬 広明
20	東北工业大学附属図書館	事 务 長	早 坂 のり子
21	東北福祉大学図書館	館 長	高 橋 美由紀
22	東北福祉大学図書館	次 長	石 田 信 孝
23	東北福祉大学図書館	課 長	本 間 雅 人
24	東北文化学園大学総合情報センター図書館	主 任	三 枝 弘
25	東北薬科大学附属図書館	事務部長	仙 石 裕 祥
26	宮城学院女子大学図書館	館 長	深 澤 昌 夫
27	宮城学院女子大学図書館	事務部長補佐	大 坂 田 茂子
28	仙台青葉学院短期大学図書館	館 長	中 嶋 隆 三
29	仙台青葉学院短期大学図書館	司 書	渡 邊 千 枝
30	東北生活文化大学附属図書館	館 長	近 江 恵美子

(私 立)

No.	大 学 図 書 館 名	職 名	氏 名
31	東北生活文化大学附属図書館	司 書	村山知美
32	羽陽学園短期大学附属図書館	館 長	齐藤葉子
33	いわき明星大学図書館	学術情報センター長 補佐・グループ長	片見智子
34	奥羽大学図書館	司 書	小林克也
35	郡山女子大学図書館	司 書 係 長	和知剛
36	東日本国際大学・いわき短期大学学術情報センター	係 長	志賀義代
37	日本大学工学部図書館	館 長	永嶋誠一
38	日本大学工学部図書館	事務課主任	大竹道代

図書館統計年報

(1) 建物・職員数・蔵書状況及び図書費

(平成 21 年 3 月 31 日現在)

図書館名	建物 延面積	職員数		蔵書冊数					平成 20 年度増加冊数			平成 20 年度 図書 購入費
		図書館職員	内臨時職員	和書	洋書	計	内開架図書	内指定図書	和書	洋書	計	
弘前大学	m ²	人	人	冊	冊	冊	冊	-	冊	冊	冊	千円
(〃医学部分館)	6,102	19	9	475,045	156,628	631,673	120,489	-	9,526	987	10,513	41,615
(〃医学部分館)	1,364	5	2	63,076	68,978	132,054	28,445	-	637	939	1,576	2,607
(〃医学部分館)	317	3	2	37,033	5,032	42,065	36,985	-	-2,150	17	-2,133	2,000
岩手大学	9,089	25	11	665,410	194,744	860,154	210,237	13,155	7,984	1,432	9,416	23,456
東北大学	18,215	77	47	1,428,751	1,124,718	2,553,469	158,304	-	32,931	11,963	44,894	990,523
" 医学分館	4,476	20	12	166,975	254,750	421,725	421,725	-	1,961	-6,669	-4,708	5,939
" 北青葉山分館	3,356	10	6	75,169	295,917	371,086	328,246	-	577	2,698	3,275	78,236
" 工学分館	5,355	17	7	160,614	175,501	336,115	336,115	-	6,523	3,759	10,282	9,171
" 農學分館	1,279	6	2	72,539	60,702	133,241	89,638	-	1,562	670	2,232	7,060
宮城教育大学	2,934	7	3	284,603	47,986	332,589	310,993	-	3,655	104	3,759	9,971
秋田大学	4,493	21	13	285,382	109,439	394,821	89,014	-	6,239	802	7,041	15,623
" 医学部分館	1,648	7	4	45,425	55,160	100,585	-	-	254	-2,573	-2,319	6,946
山形大学小百川図書館	7,626	14	6	516,958	181,004	697,962	157,936	-	10,208	1,882	12,090	31,562
" 医学部図書館	1,195	5	2	36,161	65,205	101,366	101,366	-	931	179	1,110	4,508
" 工学部図書館	3,290	6	3	111,542	55,893	167,435	66,635	-	2,249	686	2,935	15,216
" 農學部図書館	969	3	1	75,616	17,408	93,024	12,108	-	1,104	124	1,228	4,313
福島大学	7,218	21	9	608,127	225,293	833,420	116,940	-	7,280	1,957	9,237	31,642
青森公立大学	3,337	4	2	108,212	42,566	150,778	150,778	-	4,193	484	4,677	23,028
青森県立保健大	1,850	7	4	70,734	23,114	93,848	93,848	-	3,442	141	3,583	13,657
岩手県立大学	6,425	10	2	216,111	59,021	275,132	-	-	2,594	57	2,651	6,482
宮城大学大和キャンパス	2,192	6	4	67,626	13,691	81,317	60,728	341	4,844	68	4,912	11,448
" 太白キャンパス	943	5	3	44,729	5,668	50,397	38,176	338	2,825	88	2,913	8,980
秋田県立大学	4,879	9	7	156,396	37,504	193,900	140,067	-	5,900	1,246	7,146	15,398
秋田公美工短	1,194	専任2	兼任9	29,940	7,102	37,042	-	-	1,871	164	2,035	5,984
国際教養大学	1,816	5	3	17,533	41,738	59,271	50,044	-	3,171	1,551	4,722	13,927
山形県立保健医大	890	6	5	48,843	6,436	55,279	-	-	1,465	59	1,524	3,417
米沢女子短大	1,144	(兼1)4	2	95,379	7,471	102,850	102,850	-	1,225	455	1,680	2,514
会津短大	2,446	8	3	55,544	70,644	126,188	69,692	-	439	246	685	37,401
会津短大	443	1	1	64,403	7,216	71,619	-	-	1,111	46	1,157	1,725
福島県立医大	3,400	13	3	117,306	91,761	209,067	193,727	-	2,701	1,170	3,871	71,728
青森大学	2,150	4	0	133,762	22,134	155,896	-	-	5,751	171	5,922	3,388
東北女子大学	247	2	0	31,946	4,377	36,323	36,323	-	484	40	524	2,028
八戸大学	1,636	3	0	139,118	13,456	152,574	80,000	1,225	4,070	71	4,141	6,950
八戸工業大学	2,512	7	1	100,715	25,565	126,280	26,814	-	1,723	21	1,744	4,643
弘前学院大学	1,280	2	0	79,805	18,540	98,345	98,345	-	1,432	118	1,550	3,052
青森中央学院大学	1,315	5	0	66,632	4,489	71,121	56,216	-	1,799	7	1,806	3,867
岩手医科大学	4,966	12	4	135,510	134,178	269,688	246,109	110	2,129	1,362	3,491	12,311
富士大学	1,225	5	1	144,210	29,371	173,581	45,434	205	4,768	293	5,061	8,852
盛岡大学	2,081	7	2	137,169	21,855	159,024	69,083	-	4,421	277	4,698	14,773
修紅短期大学	206	2	1	12,605	234	12,839	11,865	-	371	10	381	875
岩手看護短大	183	3	1	17,855	2,345	20,200	-	-	697	0	697	820
仙台大学	1,120	2	0	85,377	15,650	101,027	-	-	2,838	180	3,018	2,924
白百合女子大	1,446	8	4	72,880	9,604	82,484	82,484	464	3,765	117	3,882	15,077
石巻専修大学	3,495	6	0	96,241	56,699	152,940	-	-	1,547	160	1,707	9,251
東北学院大学中央	7,602	31	21	428,120	288,411	716,531	27,481	-	10,217	3,023	13,240	106,428
" 多賀城	2,776	9	6	92,372	57,391	149,763	149,763	-	1,487	585	2,072	17,005
" 泉	6,100	15	11	194,825	94,094	288,919	112,765	-	8,534	2,018	10,552	56,749
東北工業大学	3,409	8	1	169,422	52,146	221,568	55,959	-	6,333	1,171	7,504	31,232
東北福祉大学	4,058	15	3	258,553	64,494	323,047	130,500	-	8,084	1,031	9,115	73,943
東北文化学園	1,982	5	0	83,363	14,607	97,970	66,241	-	4,639	108	4,747	16,935
東北薬科大学	2,036	6	3	57,097	40,756	97,853	97,853	-	1,471	545	2,016	7,506
宮城学院大学女大	3,215	11	5	278,272	101,680	379,952	37,498	666	6,396	1,027	7,423	71,142
尚絅学院大学	807	7	0	97,973	20,255	118,228	100,666	374	2,138	97	2,235	20,159
聖和学園短大	428	2	1	50,896	1,281	52,177	31,572	-	307	0	307	1,436
仙台青葉学院短期大学	平成21年4月開学のため諸統計なし											
東北生活文化大学	660	2	1	59,755	5,284	65,039	64,593	-	767	36	803	2,997
ノースアジア大学	1,561	4	0	144,245	28,282	172,527	88,186	-	1,455	22	1,477	4,452
東北芸工大学	2,155	3	0	117,718	14,191	131,909	131,909	-	7,153	871	8,024	22,320
羽陽学園短大	705	2	0	51,933	2,329	54,262	51,933	84	1,372	13	1,385	3,455
東北文教大学	1,533	5	2	101,388	8,132	109,520	69,195	370	2,489	9	2,498	6,055
いわき明星大	4,943	2	0	172,390	53,836	226,226	57,957	-	7,736	1,186	8,922	58,730
奥羽大学	2,635	7	0	142,133	91,038	233,171	233,171	-	1,902	828	2,730	5,752
郡山女子大学	1,651	4	0	94,469	14,302	108,771	90,000	-	1,649	17	1,666	3,975
東日本国際大	1,221	4	0	65,539	10,124	75,663	75,663	-	1,569	37	1,606	3,811
日本大工学部	5,006	15	9	217,343	122,273	339,616	339,616	-	-82	665	583	7,912
桜の聖母短大	642	2	1	44,650	8,839	53,489	53,489	-	1,001	176	1,177	2,948
福島学院大学	2,254	6	3	67,997	5,569	73,566	73,566	-	1,384	6	1,390	2,465

(2) 利用状況及び文献複写件数

(平成 20 年度分)

図書館名	図書館利用状況										文献複写						
	対象学生数	学生				対象職員数	教職員				学内分	学外分	計				
		館内閲覧		館外貸出			館内閲覧		館外貸出								
		人員	冊数	人員	冊数		人員	冊数	人員	冊数							
弘前大学	人 6,845	人 -	冊 -	人 19,615	冊 35,291	人 2,525	人 -	冊 -	人 1,256	冊 2,890	件 671	件 3,318	件 3,989				
(〃医学部分館)	-	-	-	5,650	8,770	-	-	-	415	912	248	1,844	2,092				
(〃医学部分館(医学科分室))	-	-	-	5,860	9,037	-	-	-	506	1,109	-	-	-				
岩手大学	人 6,108	-	-	-	39,023	人 1,147	-	-	-	3,015	3,320	3,164	6,484				
東北大学	人 18,478	-	-	54,336	121,651	人 8,859	-	-	4,535	11,709	5,391	5,316	10,707				
" 医学分館	人 2,651	-	-	5,953	9,751	人 3,520	-	-	872	1,854	990	26,062	27,052				
" 北葉山分館	人 3,056	-	-	6,986	12,817	人 801	-	-	517	986	452	4,494	4,946				
" 工学分館	人 6,695	-	-	19,286	37,579	人 871	-	-	1,288	2,781	7,167	3,786	10,953				
" 農学分館	人 1,076	-	-	3,478	6,264	人 185	-	-	275	526	1,283	2,276	3,559				
宮城教育大学	人 1,755	-	-	6,914	16,739	人 263	-	-	703	3,127	134	231	365				
秋田大学	人 5,100	-	-	12,833	24,805	人 2,419	-	-	1,314	4,055	1,898	1,559	3,457				
" 医学部分館	人 1,273	-	-	8,229	13,742	人 1,317	-	-	698	1,825	2,832	4,794	7,626				
山形大学小白川図書館	人 3,484	-	-	17,996	37,380	人 571	-	-	1,389	2,805	344	1,772	2,116				
" 医学部図書館	人 904	-	-	3,782	6,192	人 1,136	-	-	1,029	1,962	122	3,194	3,316				
" 工学部図書館	人 3,867	-	-	10,999	20,745	人 318	-	-	647	1,209	147	549	696				
" 農業部図書館	人 630	-	-	2,900	4,800	人 114	-	-	102	210	85	734	819				
福島大学	人 4,679	-	-	16,500	38,138	人 641	-	-	728	4,168	5,987	1,727	7,714				
青森公立大学	人 1,365	-	-	-	16,927	人 131	-	-	-	1,267	30	25	55				
青森県立保健大	人 814	-	-	11,500	27,867	人 397	-	-	1,142	3,561	6,802	2,626	9,428				
岩手県立大学	人 2,556	-	-	9,894	19,600	人 464	-	-	1,648	4,322	2,086	1,150	3,236				
宮城大学大和キャンパス	人 1,349	-	-	7,582	16,545	人 211	-	-	497	1,376	5,404	1,004	6,408				
" 太白キャンパス	人 524	-	-	5,652	6,836	人 115	-	-	893	1,031	927	255	1,182				
秋田県立大学	人 1,844	-	-	26,010	463	-	-	-	-	5,846	1,941	617	2,558				
秋田公美工短	人 335	-	-	-	6,456	人 65	-	-	-	1,618	0	125	125				
国際教養大学	人 826	-	-	-	6,702	人 196	-	-	-	1,516	2	59	61				
山形県立保健医大	人 414	-	-	4,477	8,158	人 78	-	-	562	884	2,687	809	3,496				
米沢女子短大	人 657	26,669	-	4,321	9,129	人 91	1,396	-	352	923	581	38	619				
会津大学	人 933	-	-	2,352	4,412	人 153	-	-	336	713	122	85	207				
会津短大	人 353	-	-	2,490	4,823	人 148	-	-	343	2,380	112	5	117				
福島県立医大	人 1,179	-	-	8,677	15,626	人 2,186	-	-	1,728	5,560	-	4,804	4,804				
青森森大学	人 1,462	-	-	-	1,768	人 96	-	-	-	470	476	337	813				
東北女子大学	人 362	6,144	-	-	707	人 97	1,032	-	-	451	948	0	948				
八戸大学	人 790	13,062	-	1,368	3,446	人 157	880	-	301	1,031	514	783	1,297				
八戸工業大学	人 1,472	-	-	622	1,223	人 249	-	-	76	194	23	52	75				
弘前学院大学	人 816	-	-	-	5,728	人 176	-	-	-	1,437	318	2	320				
青森中央学院大学	人 1,182	-	-	1,768	3,176	人 124	-	-	318	696	356	0	356				
岩手医科大学	人 1,996	-	-	3,650	6,625	人 2,914	-	-	3,042	8,438	-	-	-				
富士大学	人 1,033	34	64	1,328	2,631	人 141	32	91	389	772	0	395	395				
盛岡大学	人 2,091	44,823	-	6,650	15,633	人 226	993	-	361	932	1,358	621	1,979				
修紅短期大学	人 186	-	-	-	1,569	人 54	-	-	-	193	0	2	2				
岩手看護短大	人 243	84	145	826	1,328	人 89	24	53	64	108	0	20	20				
仙台大学	人 2,242	-	-	2,112	3,691	人 262	-	-	110	237	49,840	0	49,840				
白百合女子大学	人 1,322	-	-	4,249	8,169	人 108	-	-	239	532	298	19	317				
石巻専修大学	人 2,029	-	-	2,845	4,988	人 203	-	-	653	1,993	48,549	272	48,821				
東北学院大学中央	人 12,679	-	-	8,784	16,230	人 1,005	-	-	1,706	5,383	5,466	852	6,318				
" 多賀城	人 12,679	-	-	3,458	6,701	人 1,005	-	-	543	1,563	1,226	487	1,713				
" 泉	人 12,679	-	-	12,123	23,148	人 1,005	-	-	1,322	4,724	4,442	465	4,907				
東北工业大学	人 3,121	-	-	3,881	6,743	人 260	-	-	510	1,005	340	14	354				
東北福祉大学	人 5,209	-	-	16,555	33,205	人 752	-	-	974	2,696	1,055	1,833	2,888				
東北文化学園	人 2,206	-	-	6,968	9,725	人 287	-	-	1,369	1,621	3,751	120	3,871				
東北薬科大学	人 1,575	-	-	797	1,370	人 176	-	-	372	1,045	1,359	163	1,522				
宮城学院女大	人 3,411	-	-	11,981	23,760	人 368	-	-	798	2,789	1,597	2,179	3,776				
尚絅学院大学	人 1,879	-	-	5,057	10,254	人 253	-	-	594	2,317	-	4	4				
聖和学院大学	人 586	9,083	-	1,766	2,823	人 145	1,709	-	237	580	1,890	8	1,898				
仙台青葉学院短期大学	平成21年4月開学のため諸統計なし																
東北生活文化大学	人 615	-	-	1,701	3,148	人 126	-	-	292	828	311	74	385				
ノースアジア大学	人 1,344	-	-	1,247	2,443	人 146	-	-	271	1,271	399	132	531				
東北芸工大学	人 2,056	-	-	12,361	27,671	人 206	-	-	869	2,407	2,220	79	2,299				
羽陽学園短大	人 278	17,762	-	2,001	4,542	人 67	-	-	117	349	-	59	59				
東北文教大学	人 738	54,384	-	3,550	6,332	人 184	-	-	263	518	-	2	2				
いわき明星大	人 2,028	-	-	7,347	15,284	人 304	-	-	978	2,484	846	286	1,132				
奥羽大学	人 1,242	43,075	-	2,443	3,922	人 467	18,461	-	1,282	2,467	9,277	447	9,724				
郡山女子大学	人 1,273	11,478	-	-	3,086	人 242	1,330	-	-	950	0	0	0				
東日本国際大	人 841	10,339	-	969	1,577	人 177	1,202	-	386	896	827	390	1,217				
日本大工学部	人 4,911	96,664	-	10,526	25,350	人 278	2,285	-	930	8,049	1,505	421	1,926				
桜の聖母短大	人 427	22,356	-	2,513	5,573	人 87	1,799	-	430	1,000	0	7	7				
福島学院大学	人 1,157	-	-	2,639	4,933	人 127	-	-	286	501	123	10	133				

(3) 雑誌・新聞所蔵及び受付種類数・製本冊数

(平成 20 年度分)

図書館名	雑誌・新聞所蔵			受付種類数						雑誌・新聞 購入費	製本費	
				受付数			内購入分					
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	冊数	金額	
弘前大学	種	種	種	種	種	種	種	種	種	千円	冊	千円
(〃医学部分館)	14,193	3,885	18,078	2,615	357	2,972	545	290	835	32,840	173	295
(〃医学部分館保健学科分室)	3,560	2,388	5,948	639	330	969	76	228	304	40,034	1,104	1,954
岩手大学	622	143	765	274	22	296	39	16	55	1,306	111	189
東北大学	8,400	2,113	10,513	5,872	391	6,263	421	218	639	18,866	1,098	1,921
" 医学分館	24,123	16,581	40,704	5,548	2,813	8,361	1,354	1,903	3,257	684,725	6,938	1,491
" 北青葉山分館	4,671	8,953	13,624	1,642	1,473	3,115	519	1,236	1,755	12,766	2,758	4,767
" 工学分館	1,951	6,485	8,436	824	1,299	2,123	119	504	623	68,060	2,050	4,130
" 農学分館	953	800	1,753	943	799	1,742	219	544	763	1,377	421	757
宮城教育大学	3,566	2,234	5,800	1,099	436	1,535	132	197	329	26,990	894	1,687
秋田大学	4,665	909	5,574	765	102	867	329	94	423	10,718	328	690
山形教育大学	6,452	2,560	9,012	1,320	316	1,636	351	267	618	24,106	1,411	2,460
" 医学部分館	1,535	1,653	3,188	622	203	825	151	144	295	15,916	858	1,503
山形大学小白川図書館	9,660	3,131	12,791	2,695	469	3,164	505	311	816	19,955	55	97
" 医学部図書館	3,118	2,207	5,325	764	438	1,202	221	334	555	46,690	0	0
" 工学部図書館	1,454	1,236	2,690	326	61	387	51	31	82	7,556	282	498
" 農学部図書館	1,194	405	1,599	796	22	818	76	17	93	2,356	287	500
福島大学	10,304	3,064	13,368	2,763	394	3,157	539	303	842	22,191	1,656	3,016
青森公立大学	237	223	460	237	223	460	202	222	424	24,061	300	595
青森県立保健大	843	260	1,103	543	146	689	247	139	386	18,734	766	1,437
岩手県立大学	499	218	717	459	218	677	435	218	653	24,152	1,000	2,525
宮城大学大和キャンパス	708	384	1,092	278	96	374	232	96	328	14,499	0	0
" 太白キャンパス	409	132	541	177	50	227	140	50	190	8,950	0	0
秋田県立大学	2,073	884	2,957	952	351	1,303	458	305	763	42,814	1,038	2,017
秋田公美工短	95	66	161	65	33	98	63	33	96	1,563	0	0
国際教養大学	87	95	182	71	86	157	71	84	155	2,783	133	258
山形県立保健医大	931	188	1,119	587	107	694	104	96	200	10,099	0	0
米沢女子短大	124	23	147	124	23	147	115	23	138	2,613	210	114
会津大学	511	823	1,334	265	182	447	99	182	281	32,478	-	-
会津短大	87	90	177	93	20	113	93	20	113	2,445	0	0
福島県立医大	4,528	2,959	7,487	1,007	346	1,353	282	267	549	59,823	1,793	3,081
青森大学	151	7	158	151	7	158	124	5	129	4,935	0	0
東北女子大学	314	21	335	0	0	0	68	21	89	3,568	64	182
八戸大学	898	116	1,014	822	71	893	170	60	230	5,750	0	0
八戸工業大学	862	611	1,473	94	91	185	94	91	185	20,277	0	0
弘前学院大学	744	46	790	430	46	476	112	46	158	4,584	320	539
青森中央学院大学	253	59	312	253	59	312	247	58	305	7,282	0	0
岩手医科大学	4,511	2,709	7,220	1,494	421	1,915	405	273	678	44,105	2,054	3,594
富士大学	2,449	225	2,674	1,159	50	1,209	175	54	229	13,587	217	682
盛岡大学	2,484	206	2,690	1,067	61	1,128	166	60	226	6,420	13	26
修紅短期大学	56	3	59	51	0	51	37	0	37	333	74	155
岩手看護短大	188	52	240	58	6	64	55	6	61	1,210	100	210
仙台大学	1,295	160	1,455	128	59	187	128	59	187	7,731	-	-
白百合女子大	296	93	389	225	85	310	209	84	293	10,052	163	342
石巻専修大学	1,214	774	1,988	302	119	421	271	119	390	45,650	953	1,739
東北学院大学中央	7,263	2,000	9,263	2,260	377	2,637	316	354	670	30,073	723	1,400
" 多賀城	1,677	1,306	2,983	694	241	935	277	211	488	35,861	430	873
" 泉	2,646	920	3,566	756	304	1,060	408	296	704	44,107	616	1,200
東北工業大学	1,172	605	1,777	724	321	1,045	256	301	557	41,462	909	2,079
東北福祉大学	4,030	758	4,788	2,753	464	3,217	734	428	1,162	40,647	26	454
東北文化学園	1,589	179	1,768	467	74	541	185	55	240	15,057	327	666
東北薬科大学	517	448	965	224	111	335	56	97	153	20,604	562	1,180
宮城学院大学女大	6,829	791	7,620	1,344	249	1,593	395	217	612	22,864	-	315
尚絅学院大学	280	86	366	269	81	350	250	78	328	8,492	75	149
聖和学園短大	65	1	66	233	1	234	59	1	60	810	16	34
仙台青葉学院短期大学												
東北生活文化大学	206	46	252	84	12	96	81	12	93	1,964	0	0
ノースアジア大学	1,912	274	2,186	933	66	999	117	64	181	6,015	126	214
東北芸工大学	981	131	1,112	472	58	530	129	58	187	3,407	0	0
羽陽学園短大	113	13	126	76	6	82	73	6	79	1,169	90	194
東北文教大学	128	33	161	93	10	103	93	10	103	2,316	0	0
いわき明星大	755	439	1,194	328	144	472	295	140	435	25,223	657	1,141
奥羽大学	1,092	1,245	2,337	524	211	735	212	179	391	52,209	1,412	2,471
郡山女子大学	952	90	1,042	166	15	181	156	14	170	3,579	0	0
東日本国際大	225	83	308	555	48	603	109	43	152	4,064	250	498
日本大工学部	1,599	1,339	2,938	403	178	581	345	174	519	25,282	1,447	2,720
桜の聖母短大	123	36	159	77	14	91	73	13	86	1,530	68	129
福島学院大学	97	26	123	97	26	123	93	26	119	4,701	17	39

協議会総会当番地区・当番大学

回	年	当番地区	当 番 大 学	回	年	当番地区	当 番 大 学
	昭和			33	53	島 福	島 大 学
1	22	宮 城	東 北 大 学	34	54	宮 城	大 学
2	23	"	仙 台 工 業 専 門 学 校	35	55	秋 田	社 大 学
3	24	"	東 北 学 院 大 学	36	56	山 形	大 学
4	24	"	東 北 大 学	37	57	宮 城	女 子 大 学
5	25	岩 手	岩 手 大 学	38	58	青 岩	大 学
6	26	山 形	山 形 大 学	39	59	手 岸	学 校
7	27	青 森	青 森 大 学	40	60	宮 田	医 科 大 学
8	28	福 島	福 島 大 学	41	61	福 岛	立 医 大 学
9	29	秋 田	秋 田 大 学	42	62	秋 田	大 学
10	30	宮 城	宮 城 女 子 大 学	43	63	宮 城	学 校
11	31	岩 手	岩 手 医 科 大 学		平 成		
12	32	山 形	山 形 大 学	44	元	山 青	大 学
13	33	秋 田	秋 田 大 学	45	2	宮 岩	学 校
14	34	青 森	青 森 大 学	46	3	城 手	修 大 学
15	35	福 島	福 島 県 立 医 科 大 学	47	4	森 岩	大 学
16	36	宮 城	宮 城 北 手 大 学	48	5	福 宮	大 学
17	37	岩 岩	岩 岩 手 大 学	49	6	秋 田	大 学
18	38	福 島	福 島 大 学	50	7	山 青	大 学
19	39	東 秋	東 秋 大 学	51	8	宮 岩	学 校
20	40	秋 田	秋 田 大 学	52	9	手 岸	業 立 大 学
21	41	山 形	山 形 大 学	53	10	島 城	大 学
22	42	東 山	東 山 大 学	54	11	城 田	盛 岡 短 期 大 学
23	43	秋 岩	秋 岩 大 学	55	12	青 岩	教 育 大 学
24	44	宮 岩	宮 岩 大 学	56	13	宮 岩	大 学
25	45	山 岩	山 岩 大 学	57	14	手 岸	大 学
26	46	青 岩	青 岩 大 学	58	15	島 城	学 校
27	47	宮 岩	宮 岩 大 学	59	16	形 森	大 学
28	48	山 岩	山 岩 大 学	60	17	青 岩	青 森 短 期 大 学
29	49	青 岩	青 岩 大 学	61	18	宮 岩	大 学
30	50	宮 岩	宮 岩 大 学	62	19	手 岸	明 星 大 学
31	51	山 岩	山 岩 大 学	63	20	島 城	大 学
32	52	青 岩	青 岩 大 学	64	21	福 宮	仙 台 白 百 合 女 子 大 学

※ 第 64 回総会（平成 21 年 9 月 17 日）において第 65 回から 74 回までの当番地区が確認された。

東北地区大学図書館協議会役員館一覧【第48回（平成5）～第64回（平成21）】

	常任幹事館	幹事館	会計監査館	審査委員館	第62回総会から論文審査館(平成19年8月まで)
	(国立)	(公立)	(私立)	(国立)	(公立)
第48回総会 (H5.9～H7.8)	東北大學 東北大學 宮城教育大學	会津大學短期大學部 東北福祉大學 いわき明星大學	宮城県農業短期大學	東北学院大學 東北大學 宮城教育大學	八戸工業大學 秋田県立農業短期大學
第50回総会 (H7.9～H9.8)	東北大學 東北大學 秋田大學	会津大學	宮城県農業短期大學	東北大学 秋田大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大學
第52回総会 (H9.9～H11.8)	東北大學 東北大學 福島大學	会津大學	宮城県農業短期大學	東北大学 福島大學	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大學
第54回総会 (H11.9～H13.8)	東北大學 東北大學 山形大學	福島県立医科大学	秋田経済法科大學 東北文化学園大學	宮城学院女子大學 山形県立米沢女子短期大學 宮城学院女子大學	仙台大学 八戸公立美術工芸短期大學
第56回総会 (H13.9～H15.8)	東北大學 東北大學 弘前大學	山形県立保健医療大學	仙台百合女子大學 秋田経済法科大學	東北福祉大學 東北大学 弘前大學	秋田県農業短期大學 官城大學 八戸大學
第58回総会 (H15.9～H17.8)	東北大學 東北大學 岩手大學	秋田県立大學	宮城学院女子大學 いわき明星大學	仙台百合女子大學 岩手大学	青森県立保健大學 岩手県立大學 八戸工業大學
第60回総会 (H17.9～H19.8)	東北大學 東北大學 宮城教育大學	宮城大學	岩手医科大学	東北福祉大學 東北学院大學	青森県立保健大學 青森公立大學 仙台大學
第62回総会 (H19.9～H21.8)	東北大學 東北大學	岩手県立大學	青森県立保健大學 東北福祉大學 郡山女子大學	東北学院大學 東北大学 秋田大学	岩手県立大學 東北福祉大學 郡山女子大學
第64回総会 (H21.9～H23.8)	東北大學 東北大學	青森県立保健大學 福島大學	盛岡大學 仙台大學	石巻専修大學 福島大學	青森県立保健大學 仙台大學

東北地区大学図書館協議会研修部会委員

(任期 20. 9. 1 ~ 22. 8. 31)

推薦母体	氏 名	所属大学・役職等	備 考
国立部会	永 井 伸	東北大学附属図書館工学分館 管理係	
	飯 沼 邦 恵	秋田大学附属図書館図書情報 担当主査	
公立部会	岩 倉 琴 重	岩手県立大学メディアセンター 主任図書事務員	
私立部会	小 松 良 重	八戸大学・八戸短期大学図書館 事務室長	主 査
	大 坂 田茂子	宮城学院女子大学図書館 事務部長補佐	

東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会委員

(任期 20. 9. 1 ~ 22. 8. 31)

推薦母体	氏名	所属大学・役職等	備考
国立部会	堀野正太	東北大学附属図書館総務課学術情報支援係	ウェブ管理者
	佐藤亜紀	山形大学医学部図書館司書	
公立部会	西戸雅博	福島県立医科大学附属学術情報センター主任司書	
私立部会	須田充彦	東北学院大学中央図書館	
	稻妻晶子	東北福祉大学図書館図書係	

東北地区大学図書館協議会会則

昭和22年5月30日制定
昭和24年12月2日制定（全改）

改正：昭和28年11月13日（第1条（名称）改正）、昭和29年6月11日（第7条（会費）、第8条（票決権）改正）、昭和31年10月5日（第6条（監査館）追加）、昭和33年10月7日（第5条（顧問）追加）、昭和34年8月4日（第9条（会費）改正）、昭和39年7月9日（第9条（会費）改正・同第2項（会計年度）制定）、昭和43年5月10日（第9条（会費）改正）、昭和46年5月13日（第9条（会費）改正）、昭和50年5月16日（第2条（加盟組織の追加）改正）、昭和53年10月19日（第9条（会費・会計年度）改正）、昭和56年10月22日（第6条（幹事館を追加）改正）、昭和61年9月25日（第9条（会費）改正）、平成3年9月26日（第9条（会費）改正）、平成6年9月21日（第9条（会費）改正）

第1条 本会は東北地区大学図書館協議会と称する。

第2条 本会は東北地区における大学および国立工業高等専門学校に附属する図書館をもって組織し、図書館の施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力することを目的とする。

第3条 本会は毎年1回、加盟館輪番により総会を開催する。但し必要に応じ、加盟館過半数の賛成を得て、臨時総会を開くことができる。

第4条 本会の目的を達成するため、隨時図書館に関する講習会の開催、その他必要と認める事業を行うものとする。

第5条 本会に顧問を置くことができる。

顧問はかつて加盟館に在籍し、本会において特に顕著なる功績のあった者の中から、総会においてこれを推薦する。

顧問は総会に出席し、また隨時意見を述べることができる。

第6条 本会に常任幹事館、及び幹事館若干を置く。

1. 常任幹事館、幹事館は幹事会を組織し、協議会の運営にあたる。
2. 幹事会は毎年少なくとも1回招集するものとする。
3. 常任幹事館は協議会の会務を処理し、幹事会を招集する。
4. 常任幹事館、幹事館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第7条 本会の会計事務を監査するため若干の監査館をおく。監査館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第8条 本会の事務所は、常任幹事館内におく。

第9条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額15,000円とする。

2. 本会の会計年度は毎年9月1日にはじまり、翌年8月31日に終わる。

第10条 総会の票決権は1館につき1票とし、議決は出席館過半数の賛成を要する。

第11条 本会則は総会の議決によらなければこれを変更することができない。

附 則

本会則は昭和24年12月2日から施行する。

附 則（昭和53年10月19日第33回総会）

この改正による会則は、昭和53年10月19日から施行し、昭和54年9月1日から適用する。

附 則（昭和56年10月22日第36回総会）

この改正による会則は、昭和56年10月24日から施行し、昭和56年10月24日から適用する。

附 則（昭和61年9月25日第41回総会）

この改正による会則は昭和61年9月27日から施行する。

附 則（平成3年9月26日第46回総会）

この改正による会則は平成3年9月26日から施行する。

附則（平成6年9月21日第49回総会）
この会則は平成6年9月21日から施行する。

○第38回東北地区大学図書館協議会総会議事録（抄）

昭和58年9月29日～30日（会場：弘前大学）

全体会議（第1日）

6. 役員の改選について

常任幹事館から、役員の任期（2年）が今年度で満了となるため、次期役員館選出について提案がなされた。これは、幹事館が国立2館、公立1館、私立2館の計5館で、うち1館が常任幹事館となる。会計監査館は公立1館、私立1館で、学術奨励論文審査委員館は、国・公・私立各2館の計6館となる。以上について各部会で検討し、選任の上全体会議で取りまとめることにした。又、会計監査館については、常任幹事館を決め、それに近い大学を推薦願いたいとの提案があり承認された。

東北地区大学図書館協議会表彰規程

平成19年9月20日制定

（趣旨）

第1条 この規程は、東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）会則第4条に基づく事業として加盟館の職員を表彰するため、必要な事項を定めるものとする。

（表彰の区分）

第2条 表彰は、次の各号の一に該当する者について行う。

- (1) 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者
- (2) 協議会の運営、発展のために功績顕著であった者

（応募の方法）

第3条 表彰を受けようとする者は、所属する加盟館の長に応募の申請を行う。加盟館の長は、応募の申請に基づき常任幹事館へ推薦を行う。

（審査委員会）

第4条 前条の推薦があった時は、審査委員会が審査を行う。

2. 審査委員会は、常任幹事館及び加盟館の互選による審査委員館若干をもって組織する。
3. 審査委員会に主査館を置き、常任幹事館をもって充てる。
4. 審査委員会は、必要に応じ学識経験者の意見を参考とすることができます。

（表彰者の決定）

第5条 幹事会は、審査委員会の審査に基づき、表彰者を決定する。

（表彰状の授与等）

第6条 表彰に際しては、別紙様式による表彰状に併せて記念品を贈呈することができる。

2. 表彰は、協議会の総会において行う。

（取扱要項への委任）

第7条 この規程に定めるものほか、表彰について必要な事項は別に定める。

附 則

1. この規程は平成19年9月20日から施行する。
2. 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程（昭和40年6月2日制定）は、廃止する。
3. 東北地区大学図書館協議会表彰規程（昭和38年6月30日制定）は、廃止する。

東北地区大学図書館協議会表彰規程取扱要項

平成19年9月20日制定

第1 この取扱要項は、東北地区大学図書館協議会表彰規程（以下「規程」という。）第7条の規定に基づき表彰について必要な事項を定めるものである。

第2 規程第2条第1号の「図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者」とは次に掲げる者をいう。

- (1) 図書館活動における業績 業務処理の改善や業務遂行上の成果等で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動において先導的な意義を有するもの。
- (2) 図書館情報学の研究、調査等の業績 図書館情報学に関する著作で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動に対して啓発性を有するもの。
- (3) 前2号の業績は、個人以外にグループも対象とする。

第3 規程第2条第2号の「協議会の運営、発展のために功績顕著であった者」とは、加盟館に5年以上勤務した者のうち、規定文言の主旨に合致するものを対象とする。

第4 規程第3条の推薦の期日は、毎年5月末日までとする。

2 推薦は、別紙文書により行う。

3 応募については、自薦、他薦を問わないものとする。

第5 主査館は、推薦調書（各写）を審査委員館に送付し、審査を依頼するものとする。

第6 審査は、会議又はその他の方法による。

第7 推荐調書を提出した審査委員館は、審査には加わらない。

第8 常任幹事館から推薦調書の提出があった場合は、常任幹事館を除く審査委員館の互選によって主査館を決定する。

第9 審査委員館は、当分の間、会則第6条に規定する幹事館をもって充てる。

第10 審査委員館は、審査結果を文書にて、その年の7月末日までに常任幹事館に報告する。

第11 常任幹事館は、審査委員会の結果を総会に報告するものとする。

第12 受賞者等については、その受賞事由、業績等の概要等を協議会誌に公表するものとする。

附 則

1. この取扱要項は、平成19年9月20日から施行する。

2. 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項（平成2年9月20日制定）は、廃止する。

表彰状様式1（第2条第1号該当者）

表 彰 状 殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします。

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

表彰状様式2（第2条第2号該当者）

表 彰 状 殿

あなたは本協議会の運営に尽力されるとともに大学図書館の発展に多大な貢献をされました
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします。

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

(別紙)

文書番号

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会常任幹事館

○ ○ 大学附属図書館長 殿

○ ○ 大学(附属)図書館長

○ ○ ○ ○ 公印

表彰者の推薦について

下記の者を、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条〇号に基づく表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。

なお、別紙のとおり推薦調書を提出します。

記

○ ○ ○ ○

(第2条第1号該当者)

表彰者推薦調書

○ ○ 大学(附属)図書館

職名	氏名	生年月日	昭和 平成	年月日
推薦理由				
業績等	研究のテーマ 又は調査事項			
	発表集会等名			
	発表年月日			
	掲載誌名及び巻号			
	発行年月日			
	発行機関			
	発表者又は著者名			
当該業績等に係る他組織等からの表彰の有無 (有の場合当該組織名)				
図書館業務歴				

備考

- 1) グループの業績等で推薦する場合は、氏名の欄は代表者名を記入し、推薦理由に当該グループ名を記載すること。
- 2) 業績等の記入欄については、該当する個所について記載すること。
- 3) その他参考となる資料を添付すること。

(第2条第2号該当者)

表 彰 者 薦 調 書

○○大学(附属)図書館

職名		氏名		生年月日	昭和 平成	年月日
推薦理由						
履歴事項						
年月日	勤務内容等(大学等名及び業務)					
~						
~						
~						
~						
~						
~						
~						
~						
加盟館勤務年数計○○年						

備考

- 1) 勤務期間の計算は、暦日数によるものとし、日を月に換算する時は30日をもって1月とする。
- 2) 休職の期間(業務上の傷病の期間は除く)及び懲戒処分により停職された期間は、勤務期間から除算する。
- 3) その他参考となる資料があれば、添付すること。

東北地区大学図書館協議会研修部会設置要項

平成 20 年 9 月 18 日制定

(目的)

第1条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に研修部会（以下「部会」という。）を設置し、具体的な研修実施のための企画立案を行い、協議会加盟館員の人材育成と交流の機会を図る。

(活動内容)

第2条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 協議会が実施する研修の企画
- (2) 研修会会場館（地区）との協力による集合型研修の実施
- (3) 研修結果・成果の協議会ウェブサイト等を利用した公開

(組織)

第3条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- | | |
|--------------------|----|
| (1) 国立大学部会から推薦された者 | 2名 |
| (2) 公立大学部会から推薦された者 | 1名 |
| (3) 私立大学部会から推薦された者 | 2名 |

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第4条 前条第1項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第5条 第3条第1項に掲げる委員の任期は2年とする。ただし、再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第6条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第7条 部会の庶務は常任幹事館において処理する。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

1. この要項は、平成 20 年 9 月 18 日から施行する。
2. 東北地区大学図書館協議会研修検討WGは、廃止する。

東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会設置要項

平成20年9月18日制定

(目的)

第1条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）にウェブサイト運用部会（以下「部会」という。）を設置し、協議会の活動を広く公開するとともに加盟館及び図書館関連機関に有用な情報を提供する。

(活動内容)

第2条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 協議会ウェブサイトの運用、管理、更新
- (2) 新規掲載コンテンツの企画

(組織)

第3条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- | | |
|--------------------|----|
| (1) 国立大学部会から推薦された者 | 2名 |
| (2) 公立大学部会から推薦された者 | 1名 |
| (3) 私立大学部会から推薦された者 | 2名 |

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第4条 前条第1項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第5条 第3条第1項に掲げる委員の任期は2年とする。ただし再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第6条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第7条 部会の庶務は、常任幹事館において処理する。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

1. この要項は、平成20年9月18日から施行する。

2. 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト開設WGは、廃止する。

記念事業基金積立要綱

昭和57年10月14日制定

当協議会が記念事業を将来行うに必要な基金のために、年度予算に一定積立として計上し、積立てる。

1. 年度の積立金額は、その年度会費総額の10%を限度とする。
2. 期間は昭和57年度からとし、総会の議決により記念事業を行う予定の年度までとする。
3. 積立方法は、金融機関に口座を設け積立てる。
4. その支出については、総会の議決を経なければならない。
5. その会計事務は監査をうけ、総会に報告する。

東北地区大学図書館間相互利用手続き申し合わせ

(平成14年9月20日)

東北地区大学図書館協議会

第56回総会の協議結果を尊重し、東北地区大学図書館協議会に加盟する各大学図書館は、「国公私立大学図書館間相互貸借に関する協定」の目的にある「図書館間の相互貸借の円滑化を図り、もってわが国の学術研究・教育の進展に寄与すること。」の精神を生かし、以下を目標として努力する。

記

1. 来館利用の際の持参書類については、従来必要とした、「利用依頼書・閲覧許可願」等に代り、所属大学発行の「身分証明書」、「学生証」等の本人確認が可能なものの提示により利用を可能とすること。
2. 各大学それぞれの事情があり（例：女子大学の場合における男子学生の入構等）、また、確実に資料を入手するためにも事前連絡は必要と思われるが、急な来館についても、受入館はできるだけのサービスを行うこと。
3. 相互利用を円滑に行うため、各館は所属する研究者、学生に対して相互利用手続きに関する十分な利用者教育を行うこと。
4. 相互利用を円滑に行うため、各館は「図書館間相互協力便覧」に利用上の留意事項を明記するとともに、各館のホームページ上の利用案内においても明記すること。

東北地区国立大学図書館防災連絡網設置要項

平成12年4月20日 第31回
国立大学図書館東北地区協議会決定
平成16年4月22日 第35回
東北地区国立大学図書館協会改正

(目的)

第1条 東北地区国立大学図書館協会会則（以下「会則」という。）第2条に定める会員（以下「会員」という。）において地震等による激甚な災害が発生した際、会員における図書館業務の維持に関し、会員間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

(地区防災連絡網)

第2条 地区防災連絡網は会員により構成し、会員間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、国立大学図書館協会の東北地区理事館を充て、地区連絡館が被災した場合は、東北地区国立大学図書館協会総会の当番館がこれに代わるものとする。

(地区防災連絡館)

第3条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱等をさけるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。但し、会員における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等会員間に共通する日常業務の維持に関して、協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び会員の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、必要がある場合は、国立大学図書館協会の他地区防災連絡館等との連絡にあたるものとする。

5 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会の公立大学及び私立大学の代表との連絡窓口になるものとする。

(会員の連絡窓口の設置)

第4条 会員に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

(雑則)

第5条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、会則第5条に定める会議において定める。

附 則

この要項は、平成12年4月20日から施行する。

附 則

- 1 この要項は、平成16年4月22日から施行する。
- 2 第2条2項の規定において、東北地区理事館と東北地区国立大学図書館協会総会の当番館が重複した場合、地区防災連絡館は会則第5条に定める総会において決定する。

東北地区大学図書館協議会公立部会防災連絡網設置要項

平成 12 年 9 月 20 日
東北地区大学図書館協議会（公立部会）

（目的）

第1条 東北地区大学図書館協議会公立部会加盟館（以下「公立部会加盟館」という。）において地震等による激甚な災害により被災した歳、公立部会加盟館における図書館業務の維持に関し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

（地区防災連絡網）

第2条 地区防災連絡網は、公立部会加盟館により構成し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会公立部幹事館（以下「公立部会幹事館」という。）を充て、公立部会幹事館が被災した場合は、公立部会会計監査館がこれに代わるものとする。

（被災館）

第3条 地震等による激甚な災害に被災した公立部会加盟館（以下「被災館」という。）は、被災状況を地区防災連絡館へ連絡するものとする。

（地区防災連絡館）

第4条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱を避けるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。ただし、個々の公立部会加盟館における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等公立部会加盟館に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び公立部会加盟館の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会加盟の国立部会及び私立部会の代表との連絡窓口になるものとする。

（会員の連絡窓口の設置）

第5条 公立部会加盟館に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

（雑則）

第6条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、東北地区大学図書館協議会公立部会総会において定めるものとする。

附 則

この要項は、平成 12 年 9 月 20 日から施行する。

加盟館職員名簿

(平成22年4月1日現在)

【弘前大学附属図書館】

電話番号 (0172) 39-3155

FAX番号 (0172) 39-3171

E-mail jm3155@cc.hirosaki-u.ac.jp

館長 (併)教授 長谷川 成一
事務責任者 学術情報部長 膝館 俊広
学術情報課長 酒井 量基

【岩手大学情報メディアセンター図書館】

電話番号 (019) 621-6082

FAX番号 (019) 621-6088

E-mail lsomu@iwate-u.ac.jp

情報メディアセンター長 大塚 尚寛
(併・副学長 環境・情報統括担当)
事務責任者 情報メディア課長 藤原 健二

【東北大学附属図書館】

電話番号 (022) 795-5911

FAX番号 (022) 795-5909

E-mail sinya-ta@bureau.tohoku.ac.jp

館長 理事 野家 啓一
副館長 (併)教授 柳澤 輝行
事務責任者 事務部長 片山 俊治

【東北大学附属図書館医学分館】

電話番号 (022) 717-7973

FAX番号 (022) 717-7982

E-mail lib-med@bureau.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 柴原 茂樹
事務責任者 事務長 高橋 信野

【東北大学附属図書館北青葉山分館】

電話番号 (022) 795-6368

FAX番号 (022) 795-3753

E-mail klib-k@library.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 佐藤 春夫
事務責任者 管理係長 小幡 明子

【東北大学附属図書館工学分館】

電話番号 (022) 795-5892

FAX番号 (022) 795-7120

E-mail elib-k@library.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 吉野 博
事務責任者 図書館専門員 日出 弘

【東北大学附属図書館農学分館】

電話番号 (022) 717-8882

FAX番号 (022) 274-2127

E-mail alib@library.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 山下まり
事務責任者 図書係長 松元義正

【宮城教育大学附属図書館】

電話番号 (022) 214-3348

FAX番号 (022) 214-3351

E-mail toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp

館長 (併)教授 萬伸介
事務責任者 図書館主幹 小澤 浩

【秋田大学附属図書館】

電話番号 (018) 889-2273

FAX番号 (018) 832-4917

E-mail soumu@lib.akita-u.ac.jp

館長 (併)教授 大好直
事務責任者 図書館・情報推進課長 川村真

【秋田大学附属図書館医学部分館】

電話番号 (018) 884-6052

FAX番号 (018) 884-6252

E-mail hara@lib.akita-u.ac.jp

分館長 (併)教授 阿部 寛
事務責任者 主査 原智子

【山形大学附属図書館】

電話番号 (023) 628 - 4016

FAX番号 (023) 628 - 4849

E-mail k-tojyoki@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

図書担当副学長 理事・副学長 小山清人

事務責任者 企画部社会連携

図書情報ユニット長 矢口清

【山形大学小白川図書館】

電話番号 (023) 628 - 4904

FAX番号 (023) 628 - 4915

E-mail jkasomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 高橋和

事務責任者 小白川事務部小白川

図書ユニット長 細谷美千枝

【山形大学医学部図書館】

電話番号 (023) 628 - 5054

FAX番号 (023) 628 - 5059

E-mail itosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

分館長 (併)教授 青柳優

事務責任者 団体チーフリーダー 青野康雄

【山形大学工学部図書館】

電話番号 (0238) 26 - 3019

FAX番号 (0238) 26 - 3408

E-mail koutosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

分館長 (併)教授 米竹孝一郎

事務責任者 チームリーダー 三角太郎

【山形大学農学部図書館】

電話番号 (0235) 28 - 2810

FAX番号 (0235) 28 - 2815

E-mail notosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

分館長 (併)教授 高橋教夫

事務責任者 係長 斎藤公美雄

【福島大学附属図書館】

電話番号 (024) 548 - 8082

FAX番号 (024) 548 - 2724

E-mail k-soumu@lib.fukushima-u.ac.jp

館長(副学長) (併)教授 高橋隆行

事務責任者 学術情報課長 高橋喜一

(参考)

【青森公立大学図書館】

電話番号 (017) 764 - 1551

FAX番号 (017) 764 - 1591

E-mail lib@bb.nebuta.ac.jp

館長 (併)教授 丁圈鎮

事務責任者 主査 戎未来

〃 図書館専門員 小田真邦子

【青森県立保健大学附属図書館】

電話番号 (017) 765 - 2011

FAX番号 (017) 765 - 2012

E-mail y_ono@auhw.ac.jp

館長 (併)教授 入江良平

事務責任者 図書課長 石川順一

【岩手県立大学メディアセンター】

電話番号 (019) 694 - 2070

FAX番号 (019) 694 - 2071

E-mail ipu-library@ml.iwate-pu.ac.jp

メディアセンター長 (併)副学長 武田利明

宮古短期大学部図書館長 (併)教授 宮井久男

事務責任者 教育研究支援室長 宇部眞一

【宮城大学総合情報センター】

電話番号 (022) 377 - 8313

FAX番号 (022) 377 - 8383

E-mail tosho@myu.ac.jp

(大和キャンパス図書館)

館長 (併)教授 山田嘉明

事務責任者 総務課企画 遠藤昌弘

グループリーダー

(太白キャンパス図書館)

電話番号 (022) 245 - 1046

FAX番号 (022) 245 - 2214

E-mail f-toshoo@myu.ac.jp

館長 (併)教授 山田嘉明

事務責任者 総務学務課総務 小野寺敏美

グループリーダー

【秋田県立大学図書・情報センター】

電話番号 (018) 872 - 1561

FAX番号 (018) 872 - 1674

E-mail a_library@akita-pu.ac.jp

図書情報センター長 (併)教授 森 宏一
事務責任者 事務局次長 長谷部 功

【秋田公立美術工芸短期大学附属図書館】

電話番号 (018) 888 - 8106

FAX番号 (018) 888 - 8107

E-mail counter@amcac.ac.jp

館 長 (併)教授 松本研一
事務責任者 総務課長(兼)事務課長 古木恵美子

【国際教養大学図書館】

電話番号 (018) 886 - 5907

FAX番号 (018) 886 - 5912

E-mail katsuula@aiu.ac.jp

館 長 (併)教授 勝又美智雄
事務責任者 參事(兼)教務課長 加藤泰久

【山形県立保健医療大学附属図書館】

電話番号 (023) 686 - 6671

FAX番号 (023) 686 - 6679

E-mail nokubo@yachts.ac.jp

館 長 理 事 伊橋光二
事務責任者 図書館情報主査 大久保紀子

【山形県立米沢女子短期大学附属図書館】

電話番号 (0238) 22 - 7334

FAX番号 (0238) 22 - 7333

E-mail matsuura@yone.ac.jp

館 長 教 授 馬場重行
事務責任者 図書館管理専門員 松浦恒三

【会津大学情報センター附属図書館】

電話番号 (0242) 37 - 2545

FAX番号 (0242) 37 - 2544

E-mail isamu-ta@u-aizu.ac.jp

館長(センター長) (併)教授 趙強福
事務責任者 事務長 金澤啓一

【会津大学短期大学部附属図書館】

電話番号 (0242) 37 - 2458

FAX番号 (0242) 37 - 2412

E-mail tosho@jc.u-aizu.ac.jp

館 長 (併)教授 安江俊二
事務責任者 主任司書 秋葉康江

【福島県立医科大学附属学術情報センター】

電話番号 (024) 547 - 1687

FAX番号 (024) 547 - 1996

E-mail lib@fmu.ac.jp

センター長 (併)教授 上田和毅
事務責任者 学術情報室長 中高克郎
(併)学生課長

【青森大学・青森短期大学附属図書館】

電話番号 (017) 738 - 2001 (内) 441

FAX番号 (017) 738 - 2034 (短期大学)

E-mail hisumi@aomori-u.ac.jp

館 長 (併)教授 菅勝彦
事務責任者 主任 下山修司

【東北女子大学附属図書館】

電話番号 (0172) 33 - 2289

FAX番号 (0172) 33 - 2486

E-mail tosyo@tojo.ac.jp

館 長 (併)教授 佐々木隆

【八戸大学・八戸短期大学附属図書館】

電話番号 (0178) 30 - 1695

FAX番号 (0178) 30 - 1737

E-mail komatsu@kg.hachinohe-u.ac.jp

館 長 (併)教授 前山総一郎
事務責任者 事務室長 小松良重

【八戸工業大学図書館・情報事務室】

電話番号 (0178) 25 - 8032

FAX番号 (0178) 25 - 8887

E-mail tosyo@hi-tech.ac.jp

館 長 機械情報技術学科教授 野田英彦
図書館次長 システム情報工学科教授 武山泰
事務責任者 事務長代行(主事) 得丸雅夫

【弘前学院大学附属図書館】

電話番号 (0172) 34-5211 (内 153)

FAX 番号 (0172) 38-4071

E-mail sisyo2@hirogaku-u.ac.jp

館 長 (併)教 授 大 野 拓 哉

【青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館情報センター】

電話番号 (017) 728-0131

FAX 番号 (017) 738-8333

E-mail lib@aomoricgu.ac.jp

セ ジ ン タ ー 長 (併)教 授 加 藤 澄

事 務 責 任 者 学 務 課 長 寺 井 和 夫

【岩手医科大学附属図書館】

電話番号 (019) 651-5111

FAX 番号 (019) 625-8030

E-mail ryoko.sugawara@j.iwate-med.ac.jp

館 長 (併)教 授 澤 井 高 志

分 館 長 (併)教 授 上 原 至 雅

事 務 責 任 者 事 務 室 長 菅 原 良 子

【富士大学図書館】

電話番号 (0198) 22-4986

FAX 番号 (0198) 23-6381

E-mail tosyokan@fuji-u.ac.jp

館 長 (併)教 授 牧 野 博

事 務 責 任 者 調査役図書係 田 中 博

【盛岡大学図書館】

電話番号 (019) 688-5561

FAX 番号 (019) 694-1048

E-mail yagi@morioka-u.ac.jp

館 長 (併)教 授 高 橋 幸 雄

事 務 責 任 者 事務室長 司書 八 木 融 子

【修紅短期大学図書館】

電話番号 (0191) 24-2211

FAX 番号 (0191) 24-2213

E-mail library@shuko.ac.jp

館 長 (併)教 授 小 室 彰

【岩手看護短期大学図書館】

電話番号 (019) 687-3864

FAX 番号 (019) 687-3894

E-mail library@iwate-nurse.ac.jp

館 長 (併)学 長 小 川 英 行

事 務 責 任 者 (併)講 師 三 田 弥 生

【仙台大学附属図書館】

電話番号 (0224) 55-1399

FAX 番号 (0224) 57-2062

E-mail library@scn.ac.jp

館 長 (併)教 授 佐 藤 幹 男

事 務 責 任 者 課 長 川 村 隆

【仙台白百合女子大学図書館】

電話番号 (022) 374-5090

FAX 番号 (022) 374-4577

E-mail library@sendai-shirayuri.ac.jp

館 長 (併)教 授 太 田 将 勝

事 務 責 任 者 図書館事務長 生 出 登

【石巻専修大学図書館】

電話番号 (0225) 22-7718

FAX 番号 (0225) 22-7875

E-mail hiro@isenshu-u.ac.jp

館 長 (併)教 授 羽 田 紘 一

事 務 責 任 者 課長(図書担当) 佐 藤 彰 桂

【東北学院大学中央図書館】

電話番号 (022) 264-6491

FAX 番号 (022) 264-6490

E-mail msuda@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

館 長 (併)教 授 中 川 清 和

事 務 責 任 者 図書情報課長 早 坂 孝 司

【東北学院大学多賀城キャンパス図書館】

電話番号 (022) 368-1206

FAX 番号 (022) 368-0777

E-mail msuda@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

分 館 長 (併)教 授 芳 賀 昭

事 務 責 任 者 課長補佐 高 橋 富士男

【東北学院大学泉キャンパス図書館】

電話番号 (022) 375 - 1174

FAX番号 (022) 375 - 2121

E-mail msuda@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

分 館 長 (併)教 授 森 美智子
事務責任者 課長補佐 畠 山 和 人

【東北工業大学附属図書館】

電話番号 (022) 305 - 3178

FAX番号 (022) 305 - 3180

E-mail nhayasak@tohtech.ac.jp

館 長 (併)教 授 高 橋 恒 夫
事務責任者 事 務 長 早 坂 のり子

【東北福祉大学図書館】

電話番号 (022) 717 - 3319

FAX番号 (022) 717 - 3339

E-mail ishida@tfu-mail.tfu.ac.jp

館 長 (併)教 授 高 橋 美由紀
事務責任者 次 長 石 田 信 孝
課 長 本 間 雅 人

【東北文化学園大学総合情報センター図書館】

電話番号 (022) 233 - 3878

FAX番号 (022) 233 - 9453

E-mail ykyogoku@office.tbgu.ac.jp

館 長 (併)教 授 須 藤 論
事務責任者 顧 問 佐 藤 基

【東北薬科大学附属図書館】

電話番号 (022) 727 - 0061

FAX番号 (022) 273 - 5255

E-mail library@tohoku-pharm.ac.jp

館 長 (併)教 授 菊 地 正 雄
事務責任者 事務課長 菅 原 健 士

【宮城学院女子大学図書館】

電話番号 (022) 279 - 5658

FAX番号 (022) 279 - 6077

E-mail t-ohsaka@mgu.ac.jp

館 長 (併)教 授 深 澤 昌 夫
事務責任者 事務部長補佐 大 坂 田 茂 子

【尚絅学院大学図書館】

電話番号 (022) 381 - 3439・3440

FAX番号 (022) 381 - 3441

E-mail k_kimura@shokei.ac.jp

館 長 (併)教 授 阿留多伎 真 人
事務責任者 図書課長 木 村 久 美 子

【聖和学園短期大学図書館】

電話番号 (022) 376 - 8257

FAX番号 (022) 376 - 3155

E-mail seiwatandai.toshokan@seiwa.ac.jp

館 長 (併)教 授 荒 井 美智子
事務責任者 司 書 安 田 明 華

【仙台青葉学院短期大学図書館】

電話番号 (022) 369 - 8003

FAX番号 (022) 215 - 0950

E-mail r_nakajima@seiyogakuin.ac.jp

館 長 (併)教 授 中 嶋 隆 三

【東北生活文化学園大学図書館】

電話番号 (022) 272 - 7518

FAX番号 (022) 301 - 5601

E-mail library@mishima.ac.jp

館 長 (併)教 授 近 江 惠美子

【ノースアジア大学附属図書館】

電話番号 (018) 836 - 2406

FAX番号 (018) 836 - 4402

E-mail nauilib@nau.ac.jp

館 長

事務責任者 教務課マネージャー 松 本 典 浩

【東北芸術工科大学図書館】

電話番号 (023) 627 - 2044

FAX番号 (023) 627 - 2085

E-mail library@aga.tuad.ac.jp

館 長 代 理 学 長 松 本 哲 男
事務責任者 事 務 長 芳 賀 幹 代

【羽陽学園短期大学附属図書館】

電話番号 (023) 655 - 2385
FAX番号 (023) 655 - 2844
E-mail tosho@uyo.ac.jp
館長 (併)准教授 柏倉 弘和
事務責任者 図書係長 高橋 明子

【東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館】

電話番号 (023) 688 - 7544
FAX番号 (023) 688 - 6438
E-mail library@yamagata-jc.ac.jp
館長 (併)准教授 伊藤 弘昭
事務責任者 課長 高橋 節子

【いわき明星大学図書館】

電話番号 (0246) 29 - 7121
FAX番号 (0246) 29 - 5001
E-mail library@iwakimu.ac.jp
館長 (併)教授 清水 信行
事務責任者 室長補佐 片見 智子
グループ長

【奥羽大学図書館】

電話番号 (024) 932 - 8931
FAX番号 (024) 932 - 8944
E-mail ohulib@f8.dion.ac.jp
館長 安藤 勝
事務責任者 図書部長 伊藤 喜章

【郡山女子大学図書館】

電話番号 (024) 932 - 4848
FAX番号 (024) 924 - 1394
E-mail wachi@koriyama-kgc.ac.jp
館長 (併)教授 山田 幸二
副館長 (併)教授 二宮 和比古
事務責任者 司書係長 和知 剛
(併)非常勤講師

【東日本国際大学・いわき短期大学学術情報センター】

電話番号 (0246) 35 - 0416
FAX番号 (0246) 25 - 9188
E-mail lib@tonichi-kokusai-u.ac.jp
センター長 (併)教授 大川 信行

【日本大学工学部図書館】

電話番号 (024) 956 - 8639
FAX番号 (024) 956 - 8869
E-mail ainoue@ao.ce.nihon-u.ac.jp
館長 教授 永嶋 誠一
事務責任者 図書館事務課長 吉田 正裕

【桜の聖母短期大学図書館情報センター】

電話番号 (024) 534 - 7137
FAX番号 (024) 531 - 2320
E-mail lib-c@ssjc.ac.jp
館長 教授 アンドリュー・デュア
事務責任者 司書 津田 文子

【福島学院大学図書館情報センター】

電話番号 (024) 553 - 2087
FAX番号 (024) 553 - 8253
E-mail tosho@fukushima-college.ac.jp
館長 (併)教授 片山 邦子
事務責任者 司務課長(併)准教授 呂 学如

このたび丸善では、新しい学術和書新刊情報月刊誌「丸善新刊案内」と
医学和書新刊情報月刊誌「医学新刊案内」を創刊致しました。

はじめての 学術和書新刊情報誌 「丸善新刊案内」



「丸善新刊案内」では、毎月大量に刊行される新刊の中から、大学図書館など専門図書館・図書室に相応しい図書を選び出し、精度の高い新刊情報としてご提供致します。

主な学術書専門出版社約300社の全刊行物をはじめ、幅広く専門書を網羅すると同時に、それに準ずる一般教養書や教科書も掲載しておりますので、十分な情報量を備えています。誌面は、書影を含むカラーで構成しており、詳細な書誌情報も掲載しておりますので、お客様の選書業務の主要ツールとして大変使いやすくなっています。是非ご利用ください。

ご契約期間	購読料
年間購読（一年：12冊）	10,000円(税込)

《 本編：人社理工 》

はじめての 医学和書新刊情報誌 丸善「医学新刊案内」



「医学新刊案内」では、毎月大量に刊行される新刊の中から、医学専門図書館や病院図書室に相応しい図書を選び出し、精度の高い新刊情報としてご提供致します。主要医学書専門出版社約80社の全刊行物をはじめ、医学専門書・参考書はすべて網羅することはもちろん、それに準ずる一般教養書や患者向け図書も幅広く掲載し、十分な情報量を備えています。本編同様、見やすさ、使いやすさも十分考慮しておりますので、ぜひ選書業務の主要ツールとしてご活用下さい。

ご契約期間	購読料
年間購読（一年：12冊）	3,780円(税込)

《 医学別冊 》



10週間在庫で確実且つ早期納品が可能になりました！

カタログに掲載している丸善ストックブックスタイルは、全て10週間在庫しておりますので品切れの心配がなく、納期短縮を実現します。

只今、アンケートにご協力頂いたお客様には、無料サンプル号をお届けしております。
詳しくは、最寄りの営業部、または下記までお問い合わせください。



丸善株式会社 学術情報ソリューション事業部 仙台支店
〒980-8566 仙台市青葉区大町2丁目2-10
TEL.022-222-1133 /FAX.022-265-7516



「読む」だけに 終わらないeBOOKへ

ebraryは、書籍のオンライン利用をより簡単に、かつ効率的に行うためのコンテンツとテクノロジーを提供します。

インターネット上の関連情報にシームレスにリンク

simulation

Computer simulation

3

... but methodologies are gradually evolving. The be treated by the same statistical methods used in addition to estimating the reliability of the results measurements have been made correctly) there is also This is particularly important when attempting to the entire oc... ie sampling - sumptuous to

... a calculation, the computer becomes the virtual laboratory in which a system is studied - a numerical experiment. The analogy can be carried even further; the results emerging from a simulation may be entirely unexpected, in that they may not be at all apparent from the original formulation of the model. A wide variety of modeling techniques have been developed over the years, and those relevant to ... at the most basic level include, in addition to MD, classical Monte Carlo [all87, lan00], quantum based techniques involving path-integral [ber86c, gi90] and Monte Carlo methods [sol92], as well as molecular dynamics combined with electron density-functional theory [ren90, tuc94], as well as cellular automata models, Lattice-Boltzmann methods.

Although the goal of ... understanding, it is not always constitutes 'understanding'. In the simulational context, understanding is once a plausible model is able to reproduce and predict experimental observa...

Rank Chapter

1 Cover

2 Half-title

3 Title

4 Copyright

5 Contents

6 Preface to the first edition

7 Preface to the second edition

8 About the software

9 Introduction

10 Basic molecular dynamics

11 Simulating simple systems

12 Equilibrium properties of simple fluids

13 Dynamical properties of simple fluids

14 Alternative ensembles

15 Nonequilibrium dynamics

16 Rigid molecules

17 Complex molecules

18 10 Geometrical constrained molecules

19 Internal coordinates

20 Many-body interactions

21 Long-range interactions

22 Step potentials

23 Time-dependent phenomena

24 Grand-canonical dynamics

25 Algorithms for supercomputers

26 Mops about software

Help us improve Wikipedia by supporting our article discussion edit this page Log in / create account

Monte Carlo method

From Wikipedia, the free encyclopedia (Redirected from Monte Carlo methods)

Monte Carlo methods are a class of computational algorithms that rely on repeated random sampling to compute their results. Monte Carlo methods are often used when simulating physical and mathematical systems. Because of their reliance on repeated computation and random or pseudo-random numbers, Monte Carlo methods are most suited to calculation by a computer. Monte Carlo methods tend to be used when it is unfeasible or impossible to compute an exact result with a deterministic algorithm.^[1]

Monte Carlo simulation methods are especially useful in studying systems with a large number of coupled degrees of freedom, such as fluids, disordered materials, strongly coupled solids, and cellular structures (see cellular Potts model). More broadly, Monte Carlo methods are useful for modeling phenomena with significant uncertainty in inputs, such as the calculation of risk in business. These methods are also widely used in mathematics: a classic use is for the evaluation of definite integrals, particularly multidimensional integrals with complicated boundary conditions. It is a widely successful method in risk analysis when compared to alternative methods or human intuition. When Monte Carlo simulations have been applied in space exploration and oil exploration, actual observations of failures, cost overruns and schedule overruns are routinely better predicted by the simulations than by human intuition or alternative "soft" methods.^[2]

The term "Monte Carlo method" was coined in the 1940s by physicists working on nuclear weapon projects in the Los Alamos National Laboratory.^[3]

Contents [edit]

1 Overview

2 History

3 Applications

3.1 Physical sciences

3.2 Design and visuals

3.3 Finance and business

3.4 Telecommunications

3.5 Games

充実のコンテンツ

- ▶ 420社以上の大手学術出版社のフルテキストコンテンツを170,000タイトル以上収録
- ▶ 社会学、人文学、科学技術、医学系など幅広い分野をカバー

最新のテクノロジー

- ▶ オンラインプラットフォーム
Webブラウザからの利用
個人用ブックシェルフによる管理機能を提供
- ▶ インターネット上の関連情報をシームレスに呼び出し
参照文献中の単語から、各種辞書、用語説明、地図、人物検索、翻訳などインターネット上の関連情報への検索がシームレスにリンク
- ▶ 検索機能の強化
デューイ十進分類法、ISBN、出版年、言語による絞り込みが可能
- ▶ 用途に合わせたカスタマイズ
OPAC、その他リソースのリンクをカスタマイズ

導入のしやすさ

- ▶ 年間購読型では分野別コレクションを買取型では1タイトルからの購読が可能です
- ▶ ご予算とニーズに合わせて書籍をお選び頂けます

お問い合わせ、トライアルのお申込みは下記窓口までお気軽にご連絡ください

日本総代理店

ユサコ株式会社

<http://www.usaco.co.jp/>



●東日本営業所

〒106-0044 東京都港区東麻布2-17-12

Tel. 03-3505-3256 Fax. 03-3505-6282 E-mail. tokyo-sales@usaco.co.jp

●西日本営業所

〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-10 中尾ロイヤルビル

Tel. 06-6393-0303 Fax. 06-6393-0617 E-mail. osaka-sales@usaco.co.jp



Reaxysは、 合成化学研究を効率化する 最先端のワークフローツールです。

- 有機化合物や無機化合物、特許情報を同時に検索できます
- フルテキストにアクセスしなくても、化合物の実測物性値や生物活性データを調査できます
- 目的化合物の合成計画を、複数の合成ルートと比較しながら立案できます

www.reaxys.com

世界最大級の反応・化合物データベース —合成化学研究者に必須のベンチサイドツール—

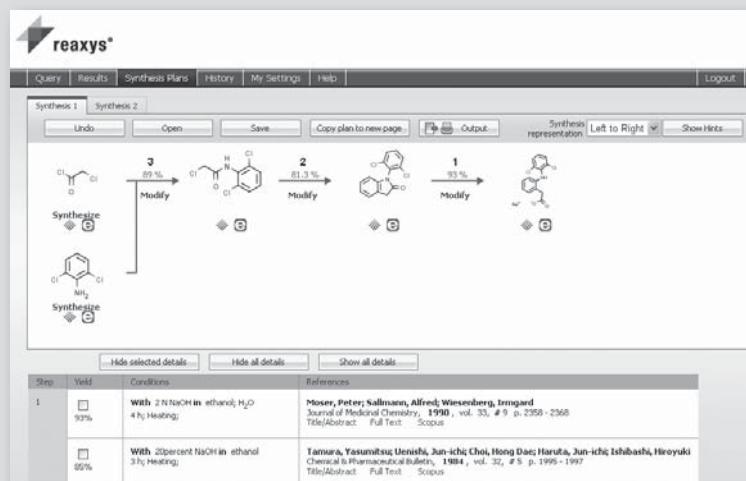
信頼あるファクトデータベースを統合：

- CrossFire Beilstein (有機化合物)
- CrossFire Gmelin (無機化合物・錯体)
- Patent Chemistry Database (特許情報)
- 2,700万以上の反応情報を網羅的に収録

使いやすさを追求：

- 合成ルートの多段階表示により、目的化合物への経路を効率よく計画可能
- 同時利用者数の制限がなく、24時間365日アクセス可能
- WindowsだけでなくMacでも利用可能

Reaxys (リアクシス)



The screenshot shows a user interface for planning a multi-step synthesis. At the top, there are tabs for 'Query', 'Results', 'Synthesis Plans', 'History', 'My Settings', and 'Help'. Below the tabs, there are three reaction steps labeled 1, 2, and 3. Step 1: A benzene ring reacts with a reagent to form a product. Step 2: The product from step 1 reacts with another reagent to form a product. Step 3: The product from step 2 reacts with a third reagent to form the final product. Under each step, there are 'Modify' and 'Synthesize' buttons. At the bottom, there is a table with columns for 'Step', 'Yield', 'Conditions', and 'References'. Step 1 has two entries: one with 93% yield and another with 65%. Step 2 has one entry with 81.3% yield. Step 3 has one entry with 93% yield.

Step	Yield	Conditions	References
1	93%	With 2 N NaOH in ethanol; H ₂ O; 4 h; Heating;	Mosley, Peter; Sallmann, Alfred; Wiesenbergs, Ingrid Journal of Medicinal Chemistry, 1990, vol. 33, # 9 p. 2358 - 2368 Title/Abstract Full Text Scopus
1	65%	With 20 percent NaOH in ethanol 3 h; Heating;	Tanur, A.; Yasumatsu, Uenishi, Jun-ichi; Choi, Hong-Dae; Haruta, Jun-ichi; Ishibashi, Hiroyuki Chemical & Pharmaceutical Bulletin, 1984, vol. 32, # 9 p. 1995 - 1997 Title/Abstract Full Text Scopus
2	81.3%		
3	93%		



お問い合わせ先

エルゼビア・ジャパン株式会社

電子図書館サービス

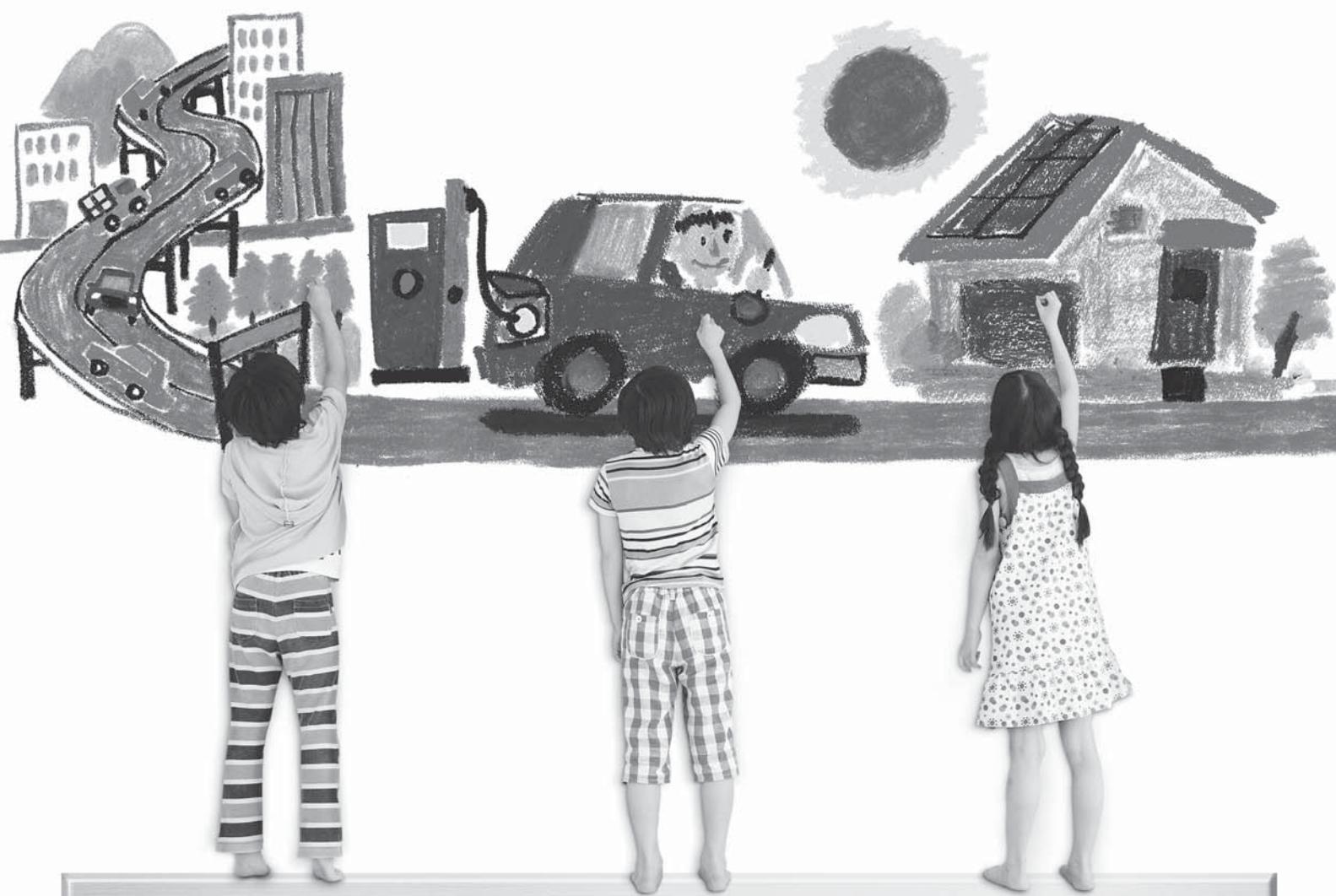
TEL: 03-5561-5034 FAX: 03-5561-5047
E-mail: jpinfo@reaxys.com



reaxys®

Innovation from CrossFire Beilstein

みんなが、ニコッ。
社会に、エコ。



まもる、つなげる、あしたをつくる。

NECグループは、ITとネットワークで
一人ひとりが、いきいきと安心して
暮らしていく社会基盤をつくり上げ、
地球にも健やかな環境を、みなさまと共に
築いていきたいと思っています。

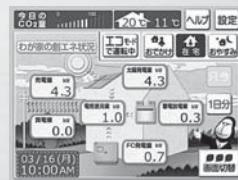
もう始まっています。NECグループの新しいエコへの取り組み



安全なクルマ社会を叶える
「高度道路交通システム(車車間通信)」
の開発。



環境にやさしい
「電気自動車向けリチウムイオン電池」や
「電気自動車用急速充電器」の開発。



家庭の省エネ、創エネが見える
「ホームエネルギー・マネジメントシステム
(HEMS)」[ENEOS創エネハウス]
(神奈川県横浜市港北区)に設置

人と地球にやさしい情報社会を目指して。NEC グループ

みんなが、ニコッ

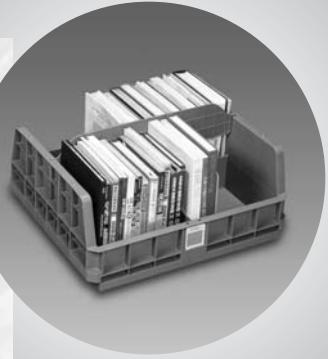
検索

Auto Lib.

[自動化書庫]



蔵書点検支援システムを標準装備



書庫の中の「見える化」を実現。処理ミスによるまぎれ込み図書の発見、紛失図書の特定等蔵書の定期的な棚卸し作業を可能にしました。

●自動化書庫オート ライブの特徴●

- ①図書・資料の限られた空間への大量保管
- ②出納作業及びカウンター業務の軽減による大幅な省力効果
- ③利用者を待たせない高速出納
- ④多くの運用システムによる利用者サービスの向上及び管理データの提供

よりよい保管システムを提供する



日本ファイリング

日本ファイリング株式会社

本社／〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2（新御茶ノ水アーバンビル）
支店／大阪・名古屋 営業所／札幌・仙台・大宮・横浜・広島・福岡

ISO14001
ISO9001
認証取得企業

資料請求・お問い合わせは ▶ <http://www.nipponfiling.co.jp> ☎ 0120-808-977 電話受付／月～金(土・日・祝日を除く) 9:00～17:00

近代日本産業史・経営史の第一級資料

東京商工会議所(経済資料センター)所蔵

全国商工会議所関係資料

第Ⅰ期：東京商工会議所関係資料（明治10年～昭和40年）

デジタルデータ版（DVD-ROM 30枚）総数9,684点／48万コマ

付：東京商工会議所関係資料目録1冊 頒布価格¥5,040,000.-（税込）

【全国商工会議所関係資料刊行委員会編】

石井寛治（東京大学名誉教授）、老川慶喜（立教大学経済学部教授）、
木村健二（下関市立大学経済学部教授）、幸野保典（駒澤大学経済学部非常勤講師）、
須永徳武（立教大学経済学部教授）、柳沢 遂（慶應義塾大学経済学部教授）、
山口由等（愛媛大学法文学部准教授）、東京商工会議所経済資料センター

商工調査・商工資料・統計資料・月報など主要刊行物はもちろん、業務・諮詢・会議・委員会資料・主要問題処理記録など、明治中期から昭和初期におけるわが国で最も重要な経済団体の膨大な未刊行資料をデジタルデータで公開！



無料
トライアル
実施中!!

雄松堂オンラインデータベース

The Making Of the Modern World 社会科学系学術図書データベース

The Goldsmiths'-Kress Library of Economic Literature 1450-1850

「ゴールドスミス・クレス」が、オンラインで閲覧可能に。

「近代」のルーツを探る、世界最高の
社会経済史コレクション

本データベースは15世紀半ばから1850年までの経済史・経営史・社会思想史を中心とする社会科学関係の書籍61,000点、および同年代に創刊された定期刊行物466点を収録し、フルテキスト検索を可能にする一大データベースです。収録資料は社会科学系の歴史的コレクションとして望みうる最高のものであると言われているロンドン大学ゴールドスミス文庫とハーバード大学経営大学院クレス文庫の蔵書を原本としており、社会科学全域をカバーした1200万ページにもおよぶ資料の検索は研究に貴重な資料を供給します。

「雄松堂 MOMW」で検索しますと詳細ページにアクセスできます。

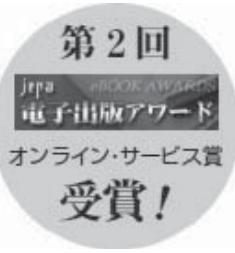
The screenshot shows a digital facsimile of a historical document from the Goldsmiths'-Kress Library. The document is titled 'The Receipt of the Examination of the Goods' and includes instructions for the entry, examination, and delivery of goods. It features dense text and some handwritten markings at the bottom.

GALE
CENGAGE Learning®



株式会社 雄松堂書店 価格等詳細は小社営業部までお問い合わせ下さい。
-日本総販売代理店- <http://www.yushodo.co.jp>

〒160-0002 東京都新宿区坂町 27 Tel 03-3357-1411 (代) Fax 03-3356-8730 E-mail: sales@yushodo.co.jp



<http://www.kinokuniya.co.jp/03f/oclc/netlibrary>

2010 年は、国民読書年。

NetLibrary は和書・洋書の eBook (電子書籍) コレクションを提供する世界最大級のプロバイダーです。

NetLibrary の eBook は、インターネット環境と Web ブラウザがあればいつでもどこでもアクセスが可能です。学術書を中心に、辞書、百科事典、ハンドブック、専門ガイドなどのレファレンス書、各分野の専門書、ビジネス書、一般書などを刊行する日本・欧米の主要な出版社が参加し、多彩な内容となっています。

和書コンテンツ好評販売中！◆上記 URL にて全タイトルリスト公開中です◆

◆NetLibrary の特徴

- 学術系 eBook を **21万タイトル以上** 含むコレクションで、**欧米の優良出版社の多数（約 500）** が参加。**全世界で約 17,500 の機関** が利用しています。
- 書架スペースや書籍の保管、破損、紛失などの問題を考える必要がありません。
- インターネットと Web ブラウザで閲覧し、専用デバイスやリーダーは不要です。(一部 Adobe®Reader®使用)
- NetLibrary 搭載の **eBook 21万タイトルすべて（未購入を含む）の横断検索・全文検索** が可能です。
- 著作権の範囲内でコピーまたは印刷することができます、内蔵辞書や付箋、メモなどの便利な機能も利用できます。
- 利用統計の確認、個人アカウントの管理などを行える管理用ツールがあります。
- 購入した eBook については MARC (MARC21 または NACSIS-CAT 形式)が提供されます。
- 多言語インターフェース（日・英・仏・独・西・中・韓・タイ・蘭）** をご用意しております。

◆NetLibrary の画面例

◆ご契約・ご購入の条件

- NetLibrary のご契約は、機関（図書館）単位のみとなっております。
 - NetLibrary eBook はタイトル単位の買い切り商品です。
- ご希望のタイトルやコレクションをご指定ください。個別にお見積もりいたします。
- 同時アクセス数： 1 タイトル 1 ユーザー（複本購入によって同時アクセス数を増やすことが可能です）



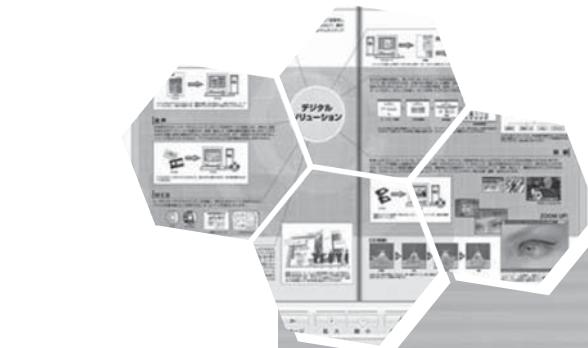
紀伊國屋書店

弘前営業所 Tel: 0172-36-3755 Fax: 0172-66-5649 Mail: hirosaki@kinokuniya.co.jp
仙台営業所 Tel: 022-227-0301 Fax: 022-266-5312 Mail: sendai@kinokuniya.co.jp

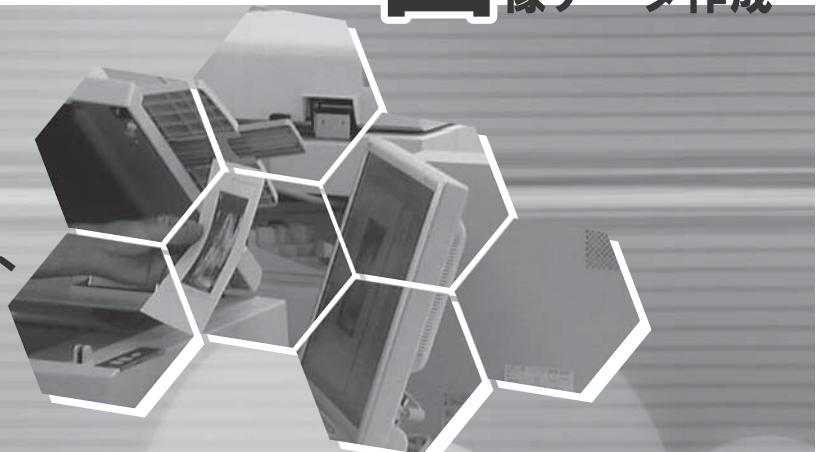
For the wisdom into the Next.

コレクション
ドキュメント
の活用のための

DIGITAL SOLUTIONS



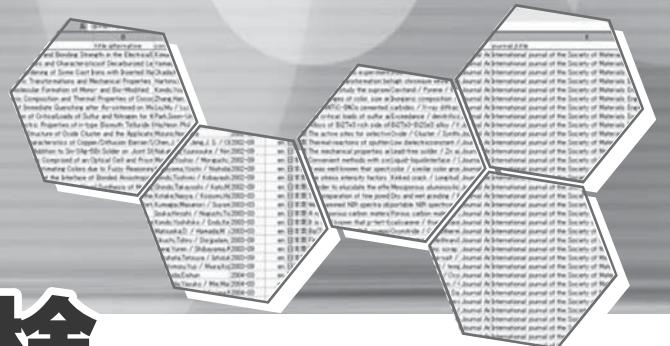
画像データ作成



機関リポジトリサポート



長期保存対策



検索用メタデータの作成

研究・公開・利用のための、貴重資料や研究成果物などの電子化。

再利用・バックアップ・保管コスト削減のための、書類・図面などのデータ化。

共有・活用、長期保存など、大切な情報資産の有効に欠かせないデジタル化に対し、効率のよいデータ化・コンテンツづくりから、システム構築・Web公開・運用、長期保存対策まで、ワンストップでサポートします。

ナカバヤシ株式会社 図書館サポートカンパニー

仙台営業所 〒984-0002 仙台市若林区卸町東1丁目6-27 TEL:022-284-3045 FAX:022-239-7550

東京本社 〒174-8602 東京都板橋区東坂下2丁目5-1 TEL:03-3558-1251 FAX:03-3558-1260
大阪支社 〒536-0005 大阪市城東区中央2丁目1-23 TEL:06-6930-6668 FAX:06-6935-2667
名古屋支店 〒456-0053 名古屋市熱田区一番2丁目2-6 TEL:052-661-3771 FAX:052-661-3775
福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7-11 TEL:092-641-3661 FAX:092-641-3699

PDFデータ入稿で、原稿を持ち込むことなく製本づくり。
FUERU FINEBOOK: <http://www.fueru.jp/finebook/>

E-mail: toshokan@nakabayashi.co.jp



東北地区大学図書館協議会誌 第 61 号

平成 22 年 4 月

発 行 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館内

東北地区大学図書館協議会

☎ (022) 795-5910

編 集 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館
